

ISSN 1882-5230

むかわ町  
穂別博物館館報

第37号

平成31・令和元（2019）年度版

むかわ町穂別博物館

## 目 次

---

沿革	-----	(p.1)
施設の概要	-----	(p.5)
施設平面図	-----	(p.5)
展示活動	-----	(p.6)
教育普及活動	-----	(p.8)
広報活動	-----	(p.17)
資料収集保存活動	-----	(p.25)
調査研究活動ほか	-----	(p.31)
運営	-----	(p.33)

---

# 沿 革

むかわ町穂別博物館は、昭和 57(1982) 年に開設され現在に至っている。

昭和 50(1975) 年に発見された長頸竜「ホベツアラキリュウ」標本が契機となり設置計画が検討された当初は「穂別町郷土資料館」との名称だったが、建設計画では「穂別町立博物館」として名称変更されている。

当博物館では「本町（旧 穂別町）で発見される化石（自然史）」の研究・保存・普及と「町の歴史（人文）」の保存・普及を行う総合博物館として運営していたが、約 10 年にわたる博物館活動の結果、自然史系資料の蓄積量と人文系資料の保存等に要する作業量に大きな差が生じ、活動方針の変更が余儀なくなった。

そこで活動方針を「穂別地域で産出する古生物（化石）を材料とし『地球と生命の歴史を考える』総合博物館とする」ことに変更した。

ここではその経緯を記録し、今後の活動等の充実と強化に努めていきたい。

なお、当博物館は、国の公立社会教育施設整備事業及び北海道市町村振興事業の補助を受け建設されている。

## I 「建設の目的」と「展示更新」、「名称変更」

### 【穂別町郷土資料館建設の目的】

『本町は、クビナガリュウをはじめデスモスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。穂別町開町 70 年（町制施行 20 年）を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。』

＜昭和 55(1980) 年 11 月 26 日＞

### 【展示更新の基本的考え方】

『穂別地域で発見される脊椎動物を始めとするさまざまな化石群が、学術的に貴重なものであることは主張するまでもない。さらに、化石を古生物としてみた場合、学術的な意味を離れても、一般の観覧者にさまざまな示唆を与えてくれるものなのである。

旧来の博物館と異なり、化石をいわゆる「変・古・珍」として扱わず、「我々人間につながる生き物」として見ることを展示の基本に置く。実物は「穂別地域産」にこだわり、模型は「生きていたときの姿」にこだわる。そして、現在の種々の生き物達の関係と同じく、過去の「古」生物達にも同様の生態系としての関連があったこと、さらに、それらは数十億年も昔から現在にかけて綿々と続く「生命の歴史」の 1 頁 1 頁であることを理解させる博物館とする。』

＜平成 2(1990) 年 6 月 27 日＞

### 【市町村合併による名称変更】

平成 18(2006) 年 3 月 27 日に穂別町と鶴川町の合併によって「むかわ町」が誕生し、町立博物館である当館の名称は、新町の名称に合わせて変更する必要性が生じた。しかしながら、これまでの実績との継続性、また、登録資料番号（HM-：HOBETSU MUSEUM の略）の維持のため、新名称には「穂別」の文字を残すこととし、新たな名称を「むかわ町穂別博物館」（英語表記：HOBETSU MUSEUM）とした。

## II 沿革

- \* 本年表において「長頸竜」、「首長竜」、「クビナガリュウ」、「ホベツアラキリュウ」の使い分けは、以下の通り。
- ・長頸竜：動物分類上の suborder PLESIOSAURIA の和訳として用いている。「蛇頸竜亜目」または「長頸竜亜目」が正式名称。
- ・首長竜：「発掘調査団」の固有名称として使用。
- ・クビナガリュウ：長頸竜の通称として使用。
- ・ホベツアラキリュウ：「穂別町首長竜化石発掘調査団」によって発掘された長頸竜標本の名称。
- \* 名称等は、当時のまま表記してある。

### 昭和 50(1975) 年

- 6 月：荒木新太郎氏（穂別町在住）が穂別町字長和において、脊椎動物化石の入った母岩を発見、一部を採集した。

### 昭和 51(1976) 年

- 9 月：佐藤昌人指導員（苫小牧青少年センター）・佐藤隆久教諭（穂別町立仁和小学校）が荒木氏発見の脊椎動物化石を長谷川善和主任研究員（国立科学博物館）に鑑定を依頼した。

### 昭和 52(1977) 年

- 2 月：長谷川主任研究員の鑑定結果が新聞で報道された。荒木氏発見の脊椎動物化石が白亜紀海棲爬虫類の鱗の一部であると確認された。
- 7 月 5-8 日：「穂別町首長竜化石発掘調査団」結成、発掘調査。この長頸竜標本を後に「ホベツアラキリュウ」と命名。

### 昭和 53(1978) 年

- 5 月：「ホベツアラキリュウ」標本のクリーニング（剖出）作業開始
- 11 月：穂別町立郷土資料館 開館（旧・穂別町立さくら保育所施設利用）

### 昭和 54(1979) 年

- 3 月 5 日：「首長竜化石骨」が穂別町指定文化財第 2 号に指定される。（平成元年 4 月 1 日より、「ホベツアラキリュウ化石骨」と呼称）

### 昭和 55(1980) 年

- 10 月 16 日：「穂別町郷土資料館建設計画検討委員会」発足

### 昭和 56(1981) 年

- 3 月 13 日：施設の名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更

### 昭和 56(1981) 年

- 7 月-12 月：博物館建設工事
- 9 月 1 日：鈴木茂学芸員就任（- 昭和 60 年 3 月 31 日）

### 昭和 57(1982) 年

- 1 月 16 日：長頸竜復元作業開始
- 3 月-6 月：博物館展示工事
- 7 月 20 日：博物館開館。一般公開開始（初代館長：今幸太郎教育長兼任）
- 8 月 26 日：「博物館協議会」発足
- 11 月 1 日：北海道博物館協会加入
- 12 月 19 日：長頸竜（ホベツアラキリュウ）復元骨格展示公開
- 12 月 19 日-1 月 23 日：特別展（第 1 回）「よみがえるクビナガリュウ」

### 昭和 58(1983) 年

- 3 月 2 日：博物館法による登録博物館となる（北博登第 28 号）
- 3 月 28 日：「博物館協力会」設立
- 4 月 1 日：日本博物館協会加入
- 4 月 28 日：菅原康次（第二代）館長就任
- 7 月 22 日-8 月 7 日：収蔵資料展（第 1 回）「地図展」
- 8 月 1 日：全国科学博物館協議会加入
- 11 月 1 日-3 日：収蔵資料展（第 2 回）「こけし展」

### 昭和 59(1984) 年

- 2 月：村上隆著「よみがえるクビナガリュウ」発刊
- 3 月 27 日：「穂別町立博物館研究報告」刊行開始
- 6 月 14 日：第二展示室（町立博物館保存庫）完成
- 11 月 1 日-4 日：収蔵資料展（第 3 回）「古い写真・古い文書展」
- 12 月 1 日：桜庭勝美（第三代）館長就任

### 昭和 60(1985) 年

- 3 月 30 日：「穂別町立博物館館報」刊行開始
- 5 月 1 日：地徳力学芸員就任（- 平成 11 年 3 月 31 日）
- 11 月 1 日-10 日：特別展（第 2 回）「北海道一億年」

### 昭和 61(1986) 年

- 10 月 21 日-11 月 9 日：特別展（第 3 回）「穂別の自然」

### 昭和 62(1987) 年

- 1 月 1 日：今幸太郎（第四代）館長就任（教育長兼任）
- 7 月 28 日-8 月 9 日：特別展（第 4 回）「アンモナイトの系図」

### 昭和 63(1988) 年

- 7 月 17 日：第三展示室（保存庫）完成
- 8 月 23 日-9 月 4 日：特別展（第 5 回）「穂別のカメラ化石」
- 10 月 6 日：今幸太郎（第五代）館長就任（専任）

### 平成元(1989) 年

- 6 月 30 日：仲谷英夫氏（香川大学助教授）：長頸竜ホベツアラキリュウ標本の記載論文公表
- 7 月 18 日-8 月 20 日：特別展（第 6 回）「穂別のむかし = 写真で見る穂別の歴史 =」
- 9 月 29 日-10 月 6 日：地徳学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣した。

### 平成 2(1990) 年

- 7 月 23 日：ドラムヘラー市長夫妻（カナダ、アルバータ州）来館
- 8 月 18 日-9 月 16 日：特別展（第 7 回）「戦争と穂別」
- 9 月 3 日-5 日：レイド、M.G. 氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館
- 12 月 31 日：野田藤雄（第六代）館長就任（教育長兼任）

### 平成 3(1991) 年

- 4 月 1 日：佐藤稔（第七代）館長就任
- 4 月 28 日、29 日：入館者 10 万人突破記念事業

### 平成 4(1992) 年

- 2 月 1 日：展示更新工事開始
- 4 月 23 日-25 日：カーリー、P. J. 氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館
- 4 月 29 日：展示更新完了、一般公開再開

### 平成 6(1994) 年

- 4 月 1 日：野田藤雄（第八代）館長就任（教育長兼任）
- 4 月 1 日：川上源太郎学芸員就任（- 平成 10 年 3

- 月 31 日)  
平成 7(1995) 年  
7 月 15 日-9 月 12 日:川上学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣、研修。  
8 月 12 日:かせき学習館完成
- 平成 8(1996) 年  
7 月 27 日-28 日:96 北海道化石サミット開催(穂別町民センター)  
10 月 6 日:大江美津夫(第九代)館長就任
- 平成 9(1997) 年  
7 月 6 日、7 月 10 日-8 月 31 日:クビナガリュウ発掘 20 周年記念事業パネル展(第 8 回特別展)
- 平成 10(1998) 年  
4 月 1 日:櫻井和彦学芸員就任  
6 月 11 日:星功(第十代)館長就任  
8 月 11 日-8 月 31 日:特別展(第 9 回)「地球物語り(地質学普及書の近代史)」
- 平成 11(1999) 年  
1 月 1 日:山田正(第十一代)館長就任  
5 月 29 日:入館者 30 万人突破記念事業  
8 月 1 日-8 月 31 日:特別展(第 10 回)「滄龍の泳いだ海-7000 万年前の穂別-」  
10 月 5 日-11 月 28 日:特別展(第 11 回)「穂別の自然」
- 平成 12(2000) 年  
8 月 1 日-8 月 31 日、9 月 14 日-10 月 1 日:特別展(第 12 回)「穂別の石-川原の石から見た穂別」  
9 月 14 日-10 月 1 日:日胆地区博物館等連絡協議会主催移動展「日高・胆振の博物館紹介」
- 平成 13(2001) 年  
8 月 1 日-8 月 25 日:特別展(第 13 回)「穂別町立博物館の 20 年-クビナガリュウとともに-」
- 平成 14(2002) 年  
4 月 28 日-5 月 17 日:特別展(第 14 回)「ツノのある奇妙なカメ-海の穂別からリクガメ化石の発見-」  
7 月 1 日-21 日:特別展(第 15 回)「穂別町立博物館の 20 年-クビナガリュウとともに-」(再公開)  
7 月 20 日:開館 20 周年記念講演・討論会「化石の里(まち)の博物館」  
7 月 27 日-8 月 9 日:博物館協力会企画展「穂別の化石」  
8 月 31 日-9 月 27 日:特別展(第 16 回)「穂別のカメ化石-恐竜時代のウミガメとリクガメ」
- 平成 15(2003) 年  
1 月 1 日:清川博之(第十二代)館長就任  
7 月 20 日-8 月 31 日:特別展(第 17 回)「穂別を泳いだモササウルス」  
11 月 1 日-1 月 31 日:特別展(第 18 回)「虫とくらし」(協力:北海道開拓記念館)
- 平成 16(2004) 年  
7 月 17 日-8 月 31 日:特別展(第 19 回)「クジラとデスマスチルス-穂別を泳いだ哺乳類-」  
10 月 30 日-12 月 12 日:特別展(第 20 回)「火山と地震-佐々保雄北海道大学名誉教授一括資料展」
- 平成 17(2005) 年  
7 月 16 日-8 月 31 日:特別展(第 21 回)「ホベツアラキリュウ発見 30 年」  
10 月 29 日-12 月 18 日:特別展(第 22 回)「絵はがきは語る-旅の思い出・昔のまちなみ-」(協力:北海道開拓記念館)
- 平成 18(2006) 年  
3 月 27 日:「むかわ町」誕生(穂別町・鶴川町の合併による)、当館の名称を「むかわ町立穂別博物館」と改称  
3 月 27 日:本多廣行(第十三代)館長就任  
7 月 15 日-9 月 3 日:特別展(第 23 回)「貝が語るむかわの一億年」  
10 月 28 日-12 月 17 日:特別展(第 24 回)「むかわの自然-山と干潟の生き物たち-」
- 平成 19(2007) 年  
4 月 1 日:柏恵一(第十四代)館長就任  
7 月 21 日-9 月 2 日:特別展(第 25 回)「むかわの一億年-化石や石が語る五つの海」  
11 月 3 日-12 月 2 日:特別展(第 26 回)「鉱業のまち、ほべつ-穂別の炭鉱と鉱山の歴史-」
- 平成 20(2008) 年  
7 月 19 日-8 月 31 日:特別展(第 27 回)「海へ帰った動物たち-穂別のセキツイ動物の秘密-」  
11 月 1 日-12 月 7 日:特別展(第 28 回)「穂別 D 遺跡-一万年前の人々のくらし-」
- 平成 21(2009) 年  
7 月 18 日-9 月 30 日:特別展(第 29 回)「穂別海竜博物館-穂別を泳いでいた海竜たち-」
- 平成 22(2010) 年  
2 月 6 日-5 月 30 日:特別展(第 30 回)「北海道アンモナイト図鑑」  
7 月 17 日-10 月 31 日:特別展(第 31 回)「白亜紀ウミガメ化石展」
- 平成 23(2011) 年  
3 月 19 日-5 月 29 日:特別展(第 32 回)「白亜紀巨大二枚貝 イノセラムス・ホベツエンシス展」  
4 月 1 日:今莊光男(第十五代)館長就任  
7 月 23 日~10 月 30 日:特別展(第 33 回)「歯のかたち-クビナガリュウ vs モササウルス-」  
12 月 3 日:「モササウルス国際シンポジウム」
- 平成 24(2012) 年  
4 月-平成 25(2013) 年 3 月:穂別産恐竜化石(むかわ竜)発掘調査 書類申請準備  
12 月 25 日-平成 25(2013) 年 3 月 6 日:むかわ町モササウルス類化石複製品作成委託
- 平成 25(2013) 年  
4 月 1 日:阿部勉(第十六代)館長就任  
9 月 2 日-10 月 5 日:穂別産恐竜化石(むかわ竜)発掘調査(第一次発掘)
- 平成 26(2014) 年  
9 月 1 日:「国立大学法人北海道大学総合博物館とむかわ町の相互協力協定書」の締結  
9 月 4 日-9 月 30 日:穂別産恐竜化石(むかわ竜)発掘調査(第二次発掘)
- 平成 27(2015) 年  
4 月 1 日:加藤英樹(第十七代)館長就任  
4 月 1 日:西村智弘学芸員就任<平成 21-25 年普及

員（嘱託職員）、平成 26 年学芸員（嘱託職員）  
>

9 月 12 日 - 9 月 30 日：穂別恐竜化石（むかわ竜）  
発掘調査（第三次発掘）

平成 28(2016) 年

4 月 1 日：田口 博（第十八代）館長就任

7 月 16 日～ 11 月 6 日：特別展（第 34 回）「モサ  
サウルス展」

7 月 30 日 - 9 月 18 日：穂別恐竜化石（むかわ竜）  
発掘調査（第四次発掘）

平成 29(2017) 年

4 月 1 日：むかわ町指定登録文化財第 4 号～ 10 号  
が指定される。

9 月 29 日：ホベツアラキリュウ化石骨（HMG-1）  
が北海道指定天然記念物として指定される（登  
録番号第 34 号）。

平成 30(2018) 年

4 月 1 日：櫻井和彦（第十九代）館長就任（元・学芸員）

5 月 31 日：「国立大学法人北海道大学総合博物館と  
むかわ町との連携・協力に関する覚書」の取り  
交わし。

9 月 6 日：平成三十年北海道胆振東部地震発生（む  
かわ町穂別は震度 6 強）。穂別博物館臨時休館  
（～ 9 月 29 日）。

11 月 1 日：「むかわ町穂別の古生物化石群」が北海  
道遺産に認定される（第 64 号）。

11 月 11 日：むかわ町穂別博物館内に北海道大学総  
合博物館古生物学研究分室の開設。

平成 31・令和元（2019）年

8 月 23 日：「国立大学法人北海道大学総合博物館と  
むかわ町の相互協力協定」調印。

9 月 6 日：むかわ竜記載論文発行、新属新種「カム  
イサウルス・ジャポニクス」と命名。

令和 2（2020）年

3 月 1 日～ 31 日：新型コロナウイルスの感染拡大  
予防のため臨時休館。



開館当時の穂別博物館（空撮）



現在の穂別博物館

# 施設の概要

## 【位 置】

北海道勇払郡むかわ町穂別 80 番地 6

平成 21 年度：展示映像機器整備

「太古の海 - クビナガリュウからのメッセージ」

事業費：4,116,000 円（消費税込）

## 【町立博物館】

### 〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：1,100m<sup>2</sup>

常 設 展 示 室	372.88m <sup>2</sup>
特 別 展 示 室	99.08m <sup>2</sup>
収 蔵 庫	86.56m <sup>2</sup>
事 務 室	40.50m <sup>2</sup>
研 究 室	31.50m <sup>2</sup>
整 理 室	29.92m <sup>2</sup>
学 習 展 示 室	184.75m <sup>2</sup>
書 庫	35.05m <sup>2</sup>
共 用 部 門	219.76m <sup>2</sup>

### 〔工 期〕

昭和 56 年度～ 57 年度

### 〔総事業費〕

362,165,000 円

### 〔展示更新〕

平成 3 年度～平成 4 年度：博物館展示替え工事

事業費：99,910,000 円（消費税込）

平成 5 年度：マルチスライドイメージソフト制作

事業費：6,890,700 円（消費税込）

## 【かせき学習館】

### 〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：325.89m<sup>2</sup>

事 務 室	56.70m <sup>2</sup>
作 業 室	56.70m <sup>2</sup>
書 庫	14.04m <sup>2</sup>
レ プ リ カ 室	12.15m <sup>2</sup>
処 理 室	12.15m <sup>2</sup>
展 示 物 保 管 庫	162.00m <sup>2</sup>
共 用 部 門	12.15m <sup>2</sup>

### 〔工 期〕

平成 7 年度

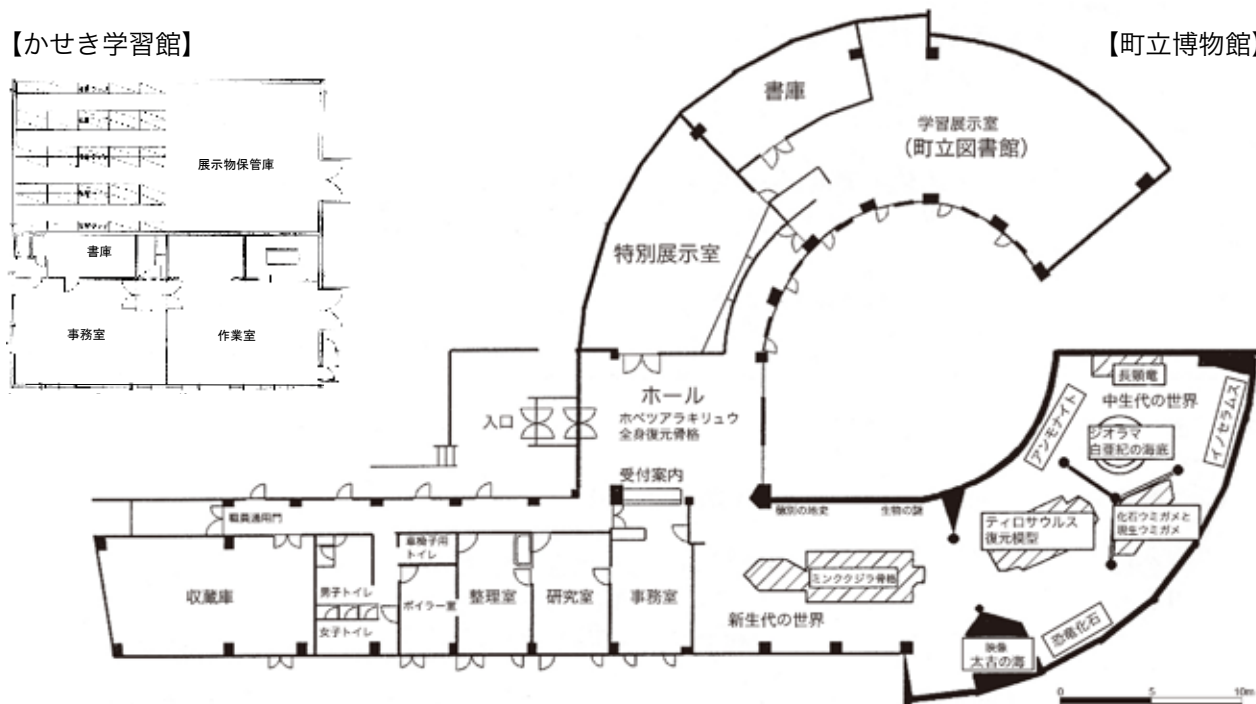
### 〔総事業費〕

57,092,900 円（消費税込み）

# 施設平面図

【かせき学習館】

【町立博物館】



# 展示活動

## Ⅰ 常設展示

主にむかわ町穂別地区から産出した動物化石を中心に、地質・化石資料やその復元模型を展示している。

### 【常設展示の変更等】

2月25日-26日 常設展示の一部変更

「恐竜コーナー」の移設・拡充と、モササウルスコーナーの拡充

- ・撤収：現生脊椎動物骨格標本（ミンククジラ、クジラ4点、ヒグマ、アザラシ）、ゾウ関連標本2点、古代人類関連標本8点
- ・追加：ティラノサウルス「スコッティ」頭骨レプリカ、フォスフォロサウルス全身復元レプリカ



ミンククジラほか現生骨格標本の展示（変更前）



ゾウ・古代人類の展示（変更前）



カムイサウルス展示コーナー（変更前）



【常設展示資料】

種 別		分 類		点 数	
化 石	中生代	脊椎動物	魚類	11	328
			爬虫類 (恐竜 2*、長頸竜 8*、モササウルス 16*、カメ 7、他 2)	35	
		軟体動物	頭足類 191、腹足類 10、斧足類 49、掘足類 1	251	
		その他動物	節足動物 7、棘皮動物 6、刺胞動物 3	16	
		植物		13	
	生痕		2		
	新生代	脊椎動物	魚類	4	92
			哺乳類 (クジラ 9、束柱類 2*、他 9*)	20	
		軟体動物	腹足類 25、斧足類 27、掘足類 4	56	
		その他動物	節足動物 3、棘皮動物 1	4	
植物			8		
現生生物	脊椎動物	爬虫類 (カメ)	3	11	
		軟体動物	頭足類 2		2
	その他動物	節足動物 1、棘皮動物 2、刺胞動物 2	5		
	植物		1		
岩石・鉱物				31	
復元模型	脊椎動物	爬虫類 3 (長頸竜 1、モササウルス 1、ウミガメ 1)、哺乳類 1		4	
その他		その他模型 3、映像 4		7	
合 計					473

(2020年3月31日現在) ※レプリカ含む



恐竜展示コーナー (カムイサウルス展示は移動・修正)



フォスフォロサウルス展示コーナー (新規)

# 教育普及活動

※利用者の区分は以下の通り

幼：小学生未満、小：小学生～高校生、大：一般

Ⅰ 博物館事業（博物館の主催・共催事業）

## 【企画展等】

### (1) 北海道里平産アンモナイト展示

会期：3月26日～6月2日（前年度より継続）

会場：特別展示室

内容：3新種アンモナイトを含む141点のアンモナイト

### (2) フォスフォロサウルス全身骨格

会期：4月24日～6月2日

会場：特別展示室

内容：新しく製作したフォスフォロサウルス全身骨格の公開。日本産モササウルスで初の全身復元骨格。

備考：4月24日14:00- 新村龍也学芸員（足寄動物化石博物館・製作者）マスメディア対応

報道参加：北海道新聞、苫小牧民報、室蘭民報、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、NHK室蘭放送局、札幌テレビ放送（STV）

## 【町民文化祭】

第62回むかわ町穂別地区町民文化祭

会期：10月18～20日

会場：穂別町民センター

出展内容：カムイサウルスイラスト、館内パズルなど

## 【むかわ町子ども化石くらぶ（ハドロキッズチーム）】

「将来の古生物学者を応援する」ことを目指して町内外の小学生を対象に一年を通じて化石の学習プログラムを実施。講師は博物館学芸員が担当したり、外部研究者に依頼した。令和元年度は2期目となる。

### <第1回>

日時：5月12日13:00～16:00

参加：38人

会場：穂別町民センター、穂別博物館

内容：オリエンテーション、博物館バックヤード探検、アンモナイト研磨など

### <第2回>（宿泊合宿）

日時 ①6月9日11:00～6月10日14:30

参加：23名（主に小4～6年生）

②6月15日11:00～6月16日14:30

参加：19名（主に小2～3年生）

会場：穂別町民センター、穂別博物館、野外

内容：野外化石採集、化石クリーニング、アンモナイト研磨、化石についての授業など

### <第3回>

日時 ①8月18日9:30～12:30

参加：18名（小4～6年生）

②8月18日13:30～16:00

参加：15名（小2・3年生）

会場：学習用地、かせき学習館

内容：化石採集（学習用地）、化石クリーニング、アンモナイト研磨、レプリカ作り（かせき学習館）

※午前・午後終了後1時間（～13:30、～17:00）室内作業対応



フォスフォロサウルス全身骨格公開会見（19.4.24）



第62回むかわ町穂別地区町民文化祭（19.10.18～20）

<第4回>

日時：10月13日

参加：33人

会場：穂別町民センター

内容：三葉虫のレプリカ作り、穂別の古生物（講話）、アンモナイトについて（講話）

※三葉虫を調べよう（三重県博 大野照文館長）台風19号の影響で来館キャンセル

<第5回>

日時 ① 11月17日 9:30～12:30

参加：22名

② 11月17日 13:30～16:00

参加：15名

会場：かせき学習館

内容：カムイサウルスバックヤードツアー、カムイサウルスの歯をさがそう、クリーニング・レプリカ作りなど（自由時間）

※化石採集（カムイサウルス発掘現場）：積雪により中止

<第6回>

日時 ① 12月8日 9:30～12:30

参加：27名

② 12月8日 13:30～16:00

参加：18名

会場：穂別町民センター

内容：「カムイサウルス、何歳？」

小林快次教授（北大総博）講演

千葉謙太郎助教（岡山理科大）講演実習

（一般公開 午前14名、午後13名）

<補習>

12月22日 13名（AM9名、PM6名）

12月29日 12名（AM9名 PM6名）

1月12日 9名（AM7名 PM3名）

<修了式>

日時：2月23日

参加：35名

会場：穂別町民センター

内容：会員児童ポスター発表、レプリカづくり、修了式ほか

【恐竜デー2019】

来館者を対象とした化石体験コーナーとして「恐竜デー2019」を大型連休および夏休みに実施した。

(1) 大型連休：恐竜デー2019GW

<会期>

平成31（2019）年4月27日、28日、29日

令和元（2019）年5月3日、4日、5日（6日間）

<内容>

①むかわ竜が産出した岩石プレゼント：約7,200万年前の岩石を来館者向けに配布（各日先着50名）。

②アンモナイトレプリカアクセサリ作り：温めると軟化するプラスチック樹脂を用いたアンモナイトレプリカのストラップ作り体験（1個100円、むかわ町民1個まで無料）。

③化石発掘体験：実物化石を内包した擬似ノジュールを恐竜ワールドセンターで販売。

<実績>

平成31（2019）年4月27日

①47個、②11個・8人（町民0人）、③25個・20人

平成31（2019）年4月28日

①50個、②39個・35人（町民6人）、③73個・58人

平成31（2019）年4月29日

①50個、②30個・28人（町民7人）、③73個・60人



むかわ町子ども化石くらぶ（ハドロキッズチーム）



むかわ町子ども化石くらぶ（ハドロキッズチーム）

令和元（2019）年5月3日

① 50 個、② 33 個・30 人（町民 1 人）、③ 91 個・82 人

令和元（2019）年5月4日

① 50 個、② 31 個・30 人（町民 0 人）、③ 98 個・73 人

令和元（2019）年5月5日

① 50 個、② 35 個・30 人（町民 0 人）、③ 101 個・79 人

(2) 夏休み：恐竜デー 2019 夏休み

<会期>

令和元（2019）年7月27日・28日

令和元（2019）年8月3日・4日・10日・11日（6日間）

<内容>

- ①むかわ竜が産出した岩石プレゼント：約7,200万年前の岩石を来館者向けに配布（各日先着50名）。
- ②アンモナイトレプリカアクセサリー作り：温めると軟化するプラスチック樹脂を用いたアンモナイトレプリカのストラップ作り体験（1個100円、むかわ町民1個まで無料）。
- ③化石発掘体験：実物化石を内包した擬似ノジュールを恐竜ワールドセンターで販売。
- ④博物館バックヤードツアー：むかわ竜の説明と収蔵庫およびクリーニング作業の説明。
- ⑤恐竜むかわ竜の歯をさがそう：むかわ竜発掘現場から採集してきた岩石を砕き、むかわ竜の歯を探す体験。体験料100円。
- ⑥化石レプリカづくり：全31種類の常設展展示標本の石膏模型作り。それぞれ解説シート付き。材料費として100円を徴収。

<実績>

令和元（2019）年7月27日

① 50 個、② 23 個・20 人（むかわ町民 0 人）、③ 58 個・47 人、④ AM15 人・PM14 人、⑤ AM8 人・PM10 人、⑥ 6 個・6 人

令和元（2019）年7月28日

① 50 個、② 17 個・17 人（むかわ町民 0 人）、③ 85 個・71 人、④ AM16 人・PM27 人、⑤ AM10 人・PM10 人、⑥ 4 個・4 人

令和元（2019）年8月3日

① 50 個、② 31 個・28 人（むかわ町民 0 人）、③ 44 個・37 人、④ AM14 人・PM5 人、⑤ AM10 人・PM10 人、⑥ 3 個・2 人

令和元（2019）年8月4日

① 50 個、② 25 個・24 人（むかわ町民 0 人）、③ 86 個・78 人、④ AM11 人・PM28 人、⑤ AM10 人・PM10 人、⑥ 9 個・9 人

令和元（2019）年8月10日

① 50 個、② 27 個・23 人（むかわ町民 2 人）、③ 91 個・81 人、④ AM9 人・PM6 人、⑤ AM9 人・PM10 人、⑥ 9 個・6 人

令和元（2019）年8月11日

① 50 個、② 50 個・41 人（むかわ町民 0 人）、③ 115 個・103 人、④ AM31 人・PM63 人、⑤ AM8 人・PM10 人、⑥ 10 個・10 人

#### 【博物館普及講演会】

会期：11月23日13:30～16:30

会場：むかわ町穂別町民センター

題名「丹波竜を中心とした篠山層群の古生物研究とその復元画の作製」

講師

三枝春生（兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員・兵庫県立大学 准教授）「兵庫県の篠山層群および和泉層群産白亜紀脊椎動物化石」



普及講演会 三枝春生准教授（19.11.23）



普及講演会 小田隆准教授（19.11.23）

小田隆（古生物復元画家・大阪芸術大学 准教授）  
「篠山層群の古生物の復元画の作製について」

参加者：大22・小4名参加

#### 【ワークシート等】

来館者を対象に、博物館展示室に各種シートを設置。  
自由参加のため、数は確認していない。

①博物館探検シート：クイズ形式で、展示室の化石について学ぶ（全4種類）。

②館内パズルラリー：展示資料近くに設置している生態復元図をはめて、パズルを完成させる（全3種類）。

## II 運営協力等

#### 【講師派遣】

(1) 室蘭工業大学「胆振学入門」

開催日：①令和元（2019）年5月9日

②令和元（2019）年8月1日

講師：櫻井和彦館長

題名：「むかわ町穂別から恐竜化石の発見」

会場：室蘭工業大学

参加人数：第1回166名、第2回148名

(2) 地学教育研究集会

開催日令和元（2019）年8月24日・25日

対応：西村学芸員

内容：講演「北海道胆振地震（2018）について」

会場：東京大学地震研究所（東京都）

#### 【共催等】

(1) 「むかわ竜 レプリカ公開」

展示資料：むかわ竜全身復元骨格レプリカ

会場：ゴビサポートジャパン穂別工場

日程・観覧者数

①令和元（2019）年6月24日・91人

②令和元（2019）年6月25日・101人

(2) 「むかわ竜 完全版 大公開」

展示資料：むかわ竜実物化石、むかわ竜全身復元骨格レプリカ、ホベツアラキリュウ全身復元骨格レプリカ、フォスフォロサウルス全身復元骨格



「むかわ竜 完全版 大公開」(19.6.29-30)



「むかわ竜 おかえりなさいイベント」(準備)



「むかわ竜 完全版 大公開」(19.6.29-30)



「むかわ竜 おかえりなさいイベント」(19.11.3-4)

## レプリカ

会場：むかわ四季の館 たんぽぽホール

日程・観覧者数

①令和元（2019）年6月29日・1,502人

②令和元（2019）年6月30日・2,425人

(3)「むかわ竜 おかえりなさいイベント」

展示資料：むかわ竜全身復元骨格レプリカ

会場：むかわ町穂別町民センター

日程：令和元（2019）年11月3日・4日

(4)「カムイサウルス・ジャポニクス レプリカ特別公開」

展示資料：カムイサウルス全身復元骨格レプリカ

会場：むかわ町穂別町民センター多目的ホール

日程：令和元（2019）年12月10日～15日

観覧者：153人（町内62人・町外91人）



「恐竜博2019」準備（むかわ竜実物化石の配置）

## 【運営協力】

(1) 恐竜博2019

会期：令和元（2019）年7月13日～10月14日

会場：国立科学博物館（東京上野）

内容：むかわ竜実物化石・全身組立骨格（レプリカ）、ホベツアラキリュウ実物化石（一部）・全身復元骨格（レプリカ）、フォスフォロサウルス実物化石・全身復元骨格（レプリカ）の展示

対応

①令和元（2019）年7月7日～10日 恐竜博2019準備

担当：櫻井館長、中村学芸補助員、吽野学芸補助員、村上ボランティア、加藤英樹恐竜ワールド戦略室長、高崎竜司（北海道大学・院）

内容：むかわ竜、ホベツアラキリュウ、フォスフォロサウルスの実物化石の展示

②令和元（2019）年7月12日 恐竜博2019開会式・内覧会への出席

担当：櫻井館長、竹中喜之むかわ町長

内容：内覧会にて、むかわ竜ほか出展化石の説明

③令和元（2019）年7月30日 鈴木直道北海道知事による恐竜博2019の視察対応

担当：櫻井館長、竹中町長

内容：鈴木知事へむかわ竜ほかむかわ町穂別産化石の説明

④令和元（2019）年10月14日～16日 展示資料の撤収作業

担当：櫻井館長、中村学芸補助員、吽野学芸補助員、村上ボランティア

⑤令和元（2019）年10月24日～25日 穂別博物館へ返却



「恐竜博2019」開会式（19.7.12）



「恐竜博2019」（19.7.13-10.14）

(2) 茨城県自然史博物館貸し出しむかわ竜回収

日程：6月11日～12

会場：茨城県自然史博物館

内容：企画展へ貸出していた資料の回収

担当：西村学芸員

(3) JTB「MUKAWA ダイナソー・アドベンチャー」

実施日：① 7/25、② 7/26、③ 8/1、④ 8/2、⑤ 8/3、⑥ 8/9、⑦ 8/10、⑧ 8/11

会場：穂別博物館集合、むかわ竜発掘現場

対応内容：化石発掘道具の貸し出し、採集した化石の鑑定（希少な化石は寄贈いただく）

参加者：271人

(4) 「むかわ竜全身復元骨格（レプリカ）製作プロジェクト（クラウドファンディング）」

「むかわ竜」の貸出用の全身復元骨格レプリカ製作のためのクラウドファンディングに協力した。

主催：むかわ町

期間：令和元（2019）年8月26日～12月24日

支援者：334人

寄付額：10,897,500円（達成率72%）

【寄稿等】

(1) 西村智弘, 「むかわ竜」発見の経緯から恐竜博2019で展示されるまで, 恐竜博2019 図録, p. 94-99

(2) 西村智弘, 収蔵アンモナイトの解説. 北大総合博物館のすごい標本, 北海道大学総合博物館編, p.168, 171, 2020

(3) 西村智弘, サイエンスを支え続ける地下足袋【コラムリレー06第38回】. 集まれ! 北海道の学芸員ウェブサイト (<http://www.hk-curators.jp/>)

【取材対応・撮影協力等】

随時対応した



鷗川中学校1年「むかわ学」（化石採集）（19.6.6）



穂別高校1年「バス見学会」（化石採集）（19.9.18）



鷗川高校1年「むかわ学」（博物館見学）（19.7.23）



穂別小学校4年「化石学習」（化石クリーニング）（19.9.20）

### Ⅲ 団体等の利用

#### Ⅲ - 1 町内団体等の利用

##### 【町内学校・教育関係団体】

平成 30(2018)年 5 月

30 日 鷓川中学校 1 年「むかわ学」<出前講座(講義)>(小 33・大 6)

令和元(2019)年 6 月

6 日 鷓川中学校 1 年「むかわ学」<博物館見学・化石採集ほか>(小 35・大 6)

18 日 鷓川中学校 1 年「むかわ学」<質問対応>

令和元(2019)年 7 月

4 日 穂星寮保護者宿泊体験ツアー(大 9)

19 日 穂別小学校 4 年「化石学習①」<展示見学>(小 18・大 3)

23 日 鷓川高校 1 年「むかわ学」<展示見学・化石採集・化石クリーニング>(小 51・大 4)

令和元(2019)年 9 月

6 日 通学合宿 学生ボランティア<展示見学>(大 4)

18 日 穂別小学校 4 年「化石学習②」<化石採集>(小 18・大 3)

18 日 穂別高校 1 年「バス見学会」<展示見学・化石採集・化石クリーニング>(小 10・大 3)

20 日 穂別小学校 4 年「化石学習③」<化石クリーニング・レプリカづくり>(小 18・大 2)

令和元(2019)年 10 月

9 日-11 日 穂別高校 2 年インターンシップ(小 2)

11 日 小中高一貫ふるさとキャリア教育(事前学習)<展示案内・レプリカアクセサリー作り>(小 29・大 8)

24 日 小中高一貫ふるさとキャリア教育(合同リ

ハーサル)<展示案内・レプリカアクセサリー作り>(小 29・大 8)

30 日 小中高一貫ふるさとキャリア教育(当日)<展示案内・レプリカアクセサリー作り>(小 45・大 10)

令和 2(2020)年 2 月

18 日 鷓川中央小 3 年「調べ学習」(質問対応)(小 27・大 3)

##### 【町内各種団体】

令和元(2019)年 10 月

26 日 むかわ町商工会青年部(大 22)

#### Ⅲ - 2 町外団体の利用

令和元(2019)年 4 月

11 日 北海道大学総合博物館ボランティア(大 11)

令和元(2019)年 6 月

1 日 シィビーツアーズ(大 27)

12 日 北海道庁国際課ロシアグループ日露青年交流センター(小 19・大 10)

28 日 北見広域森林組合(大 15)

29 日 伊達郷土史研究会(大 10)

令和元(2019)年 7 月

4 日 白老町竹浦小学校(小 12・大 3)

4 日 中川町民生委員協議会(大 10)

10 日 東胆振地域関係モニターツアー(大 12)

11 日 大和町町内会女性部(大 34)

22 日 札幌社会福祉協議会(大 39)

25 日 JTB MUKAWA ダイナソー・アドベンチャー(小 7・大 16)

25 日 むかわ町教育委員会社会教育事業講師(大 2)



穂別高校インターンシップ(19.10.9-11)



むかわ竜発掘現場



26日 JTB MUKAWA ダイナソー・アドベンチャー (小14・大22)

令和元(2019)年8月

1日 JTB MUKAWA ダイナソー・アドベンチャー (小8・大20)

2日 JTB MUKAWA ダイナソー・アドベンチャー (小9・大14)

2日 岩見沢市民生児童協議会第9方面 (大14)

3日 JTB MUKAWA ダイナソー・アドベンチャー (小20・大20)

3日 北海道教育互助センター (小4・大16)

9日 富良野市緑町長寿会 (大17)

10日 JTB MUKAWA ダイナソー・アドベンチャー (小24・大15)

11日 JTB MUKAWA ダイナソー・アドベンチャー (小26・大13)

23日 千歳市北斗2丁目寿楽会 (大27)

28日 JTB 教育法人旅行誘致協議会 (大12)

28日 新ひだか町高齢者大学 (大14)

29日 胆振町村会 (大8)

令和元(2019)年9月

5日 上厚真小学校 (小33・大4)

6日 石狩市民カレッジ (大48)

13日 社会福祉法人「えるむ」(知的障害者通所施設) (大17)

13日 千歳市立東小学校 (小9・大3)

19日 桐生大学短期大学部<展示見学> (大12)

29日 夕張市老人クラブ 鹿の谷大昭クラブ (大25)

令和元(2019)年10月

4日 川沿第3町内会 (大50)

4日 中富良野文化協会 (大25)

6日 JTB ツアー (小14・大21)

18日 太陽皇寿会 (大29)

20日 近畿日本ツーリズム (大10)

24日 札幌教職員互助会北支部 (大21)

26日 自治大フロア会 (大19)

令和元(2019)年11月

3日 北海道銀杏会 (大24)

### III - 3 その他

#### 【資料調査等】

令和元(2019)年6月

11日 一田昌宏学芸員(豊橋市自然史博物館)(大1)

21日 圓谷昂史学芸員(北海道博物館)(大1)

29日 圓谷昂史学芸員(北海道博物館)(大1)

令和元(2019)年8月

13日 池田昌之助教(静岡大学)ほか(大4)

16日 池田昌之助教(静岡大学)ほか(大4)

17日 野村真一教諭(千葉県立木更津高等学校)(大1)

21日 道林克禎教授(名古屋大学環境学研究科地球環境科学)ほか(大14)

22日 安藤寿男教授(茨城大学理学部)ほか(大3)

23日 田中嘉寛学芸員(大阪市自然史博物館)(大1)

令和元(2019)年9月

3日 千代田厚史講師(東松山市化石と自然の体験館)(大1)

23日 本山功准教授(山形大学)ほか(大7)

令和元(2019)年10月

20日 松井久美子研究員(九州大学総合研究博物館)、唐沢與希学芸員(三笠市立博物館)(大2)

20日 シグジヤブ・ツォクトバートル所長(モンゴル国科学アカデミー古生物学研究所)ほか(大3)

令和元(2019)年11月

23日 三枝春生主任研究員(兵庫県立人と自然の博物館・兵庫県立大学准教授)、小田隆准教授(大阪芸術大学・古生物復元画家)(大2)

令和元(2019)年12月

26日 吉田哲也館長、中田健裕副館長、川辺英行主査(旭川市科学館サイパル)(大3)

#### 【視察等】

令和元(2019)年4月

12日 北海道胆振総合振興局地域創生部地域政策課(大2)

24日 北海道大学総合博物館(大3)

令和元(2019)年5月

26日 むかわ町外部人材招聘事業(大3)

令和元(2019)年6月

29日 アリス館編集者等(大4)

令和元(2019)年7月

16日 北海道胆振総合振興局森林室 森林室長ほか(大4・引率2)

18日 北海道胆振総合振興局 地域創生部長ほか(大2・引率1)

19日 尾崎豊部長(一般社団法人 地域総合整備財団<ふるさと財団>地域再生部)ほか(大3・引率2)

令和元(2019)年8月

7日 兵庫県丹波市議会行政視察(大8・引率6)

27日 北海道大学 公共政策大学院(大6・引率1)

令和元(2019)年9月

23日 岡安勲学長(桐生大学)ほか(大3)

27日 新ひだか町町議会議員OB会(大8)

令和元(2019)年10月

9日 北方建築総合研究所 副所長ほか(大3)

令和元(2019)年11月

4日 ダンバダルジャー・バッチジャルガル特命全  
権大使(駐日モンゴル国大使館)(大1)

8日 リトアニア国アクメネ地域市長ほか(大4・  
引率5)

13日 台湾著名人ほか(大3・引率2)

令和元(2019)年12月

3日 徳島県町村会(大5・引率1)

3日 風見正三教授(宮城大学)ほか(大2・引率2)

8日 「北海道恐竜議連」議員(大10・引率4)

13日 北海道議会議員(大4・引率4)

19日 苫小牧警察署職員(大2)

#### 【その他】

令和元(2019)年7月

14日 吉本興業スタッフほか(大6)〈取材〉  
館内にて紹介VTR撮影(被災したむかわ町、  
厚真町、安平町が対象)



クラウドファンディングによる「むかわ竜」レプリカの製作  
(レプリカ白色部は、令和2年度に着色<寄付者へのリターン  
イベント>の予定)

# 広報活動

## I 博物館広報活動

### 【ホッピーだより（博物館広報紙）】

A 4 版両面。博物館からのお知らせ、行事予定を掲載。ホームページで公開し、町内の公共施設や学校等へ配布。

413 号<平成 31 (2019) 年 4 月 1 日>「北海道の新しい化石産地（里平地域）から 3 新種を含むアンモナイト 37 種を発見 新種を含む多くの化石がむかわ町穂別博物館に寄贈 / 恐竜デー 2019 GW（イベント告知） / 中村記念館開館」

414 号<令和元 (2019) 年 5 月 1 日>「むかわ町穂別産「むかわ竜」全身復元骨格完成！ / 漫画むかわ竜発掘記出版 / 日本産モササウルス類初の全身復元骨格完成！」

415 号<令和元 (2019) 年 6 月 1 日>「アンモナイトの巨大顎器発見・寄贈 2019 年 4 月発表の研究論文で報告 / 2018 年度の寄贈資料 / むかわ町穂別博物館の古生物が「恐竜博 2019」国立科学博物館に大集合 / 復興イベント・恐竜博 2019 壮行会 むかわ竜完全版大公開 / むかわ竜をモデルにした絵本が出版」

416 号<令和元 (2019) 年 7 月 1 日>「むかわ竜（むかわ町穂別産の分類・年齢・体重の解明） / ホベツアラキリュウの再研究進展 / 恐竜デー 2019 夏」

417 号<令和元 (2019) 年 8 月 1 日>「恐竜博 2019 での展示（穂別博物館関連） / 北海道大学理学院修士課程の太田晶氏への研究協力」

418 号<令和元 (2019) 年 9 月 1 日>「博物館収蔵資料の紹介 20 日本最大のイノセラムス イノセラムス・ホベツエンシス / むかわ竜全身復元骨格（レプリカ・貸し出し用）製作のクラウドファンディング開始」

419 号<令和元 (2019) 年 10 月 1 日>「むかわ竜を『カムイサウルス・ジャポニクス (*Kamuysaurus japonicus*)』と命名」

420 号<令和元 (2019) 年 11 月 1 日>「カムイサウルスと同時代の生き物 - カムイサウルス イラストの図解 -」

421 号<令和元 (2019) 年 12 月 1 日>「2019 年調査研究などでの来館者 / 【コラム】カムイサウルスのこれまで①」

422 号<令和 2 (2020) 年 1 月 1 日>「2019 年ハドロキッズチーム（むかわ町子ども化石くらぶ）活動報告 / 【コラム】カムイサウルスのこれまで②」

423 号<令和 2 (2020) 年 2 月 1 日>「2019 年の教育・普及活動（外部協力） / むかわ町子ども化石くらぶ（ハドロキッズチーム）会員募集」

424 号<令和 2 (2020) 年 3 月 1 日>「研究報告第 35 号（3 月 1 日発行）の内容紹介」

### 【博物館ホームページ】

ホッピーだよりなど随時更新した。

アドレス <http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>

### 【むかわ町穂別博物館ブログ】

行事予定など随時更新した。

アドレス <http://pomu.town.mukawa.lg.jp/module/1550.htm#moduleid1550>（むかわ町ポータルサイト POMU 内）

### 【プレスリリース】

(1)「むかわ町穂別産“むかわ竜”全身復元骨格が完成！～むかわ竜、ついに立ち上がる～」<平成 31 (2019) 年 4 月 17 日発行>

(2)「日本産モササウルス類 初の全身復元骨格製作」<平成 31 (2019) 年 4 月 24 日発行>

(3)「ホベツアラキリュウ全身骨格 37 年ぶりに修正再研究によって正確な復元に」<令和元 (2019) 年 6 月 14 日発行>

(4)「むかわ町穂別産“むかわ竜”の分類・年齢・体重の解明」<令和元 (2019) 年 6 月 18 日発行>

(5) むかわ竜を新属新種の恐竜として「カムイサウルス・ジャポニクス (*Kamuysaurus japonicus*)」と命名 ～ハドロサウルス科の起源を示唆～<令和元 (2019) 年 9 月 6 日発行>

## II 報道関係

### 【恐竜むかわ竜（むかわ町穂別産）関連】

※以下に記した以外にもインターネットで多数配信された<報道会見>

(1) むかわ竜全身復元骨格レプリカ完成 報道会見

日時：平成 31 (2019) 年 4 月 11 日 10:00-

会場：ゴビサポートジャパン穂別工場

説明者 小林快次教授（北海道大学総合博物館）

真鍋真センター長（国立科学博物館）

竹中喜之町長（むかわ町）

櫻井和彦館長・西村智弘学芸員

(2) むかわ竜日本古生物学会発表 報道会見

日時：令和元（2019）年6月18日 10：00-

会場：ゴビサポートジャパン穂別工場

説明者 小林快次教授（北海道大学総合博物館）

竹中喜之町長（むかわ町）

櫻井和彦館長・西村智弘学芸員

(3) むかわ竜学名決定 報道会見

①穂別会場

日時：令和元（2019）年9月3日（情報解禁9月6日）

会場：むかわ町穂別町民センター（むかわ町穂別）

説明者 小林快次教授（北海道大学総合博物館）

竹中喜之町長（むかわ町）

西村智弘学芸員

堀田良幸氏（第一発見者）

司会 加藤英樹室長（恐竜ワールド戦略室）

②東京会場

日時：令和元（2019）年9月4日

会場：国立科学博物館 特別展示室「恐竜博2019」会場（東京都台東区）



むかわ竜全身復元骨格レプリカ完成 報道会見（19.4.11）



むかわ竜日本古生物学会発表 報道会見（19.6.18）

説明者 小林快次教授（北海道大学総合博物館）

竹中喜之町長（むかわ町）

<映画>

(1) 恐竜超伝説 劇場版ダーウィンが来た！

（制作：NHK エンタープライズ、1時間30分）

令和2（2020）年2月21日公開

（制作協力：むかわ町穂別博物館、櫻井和彦館長、西村智弘学芸員）

<テレビ>

(1) ミニ番組「よみがえるむかわ竜」第2回「恐竜発見に沸く 化石の町穂別」（2分）胆振日高向けテレビ放送（NHK 総合）

令和元（2019）年5月下旬以降（随時放送）

(2) 天才てれびくん YOU（NHK E テレ）

令和元（2019）年7月3日 18:20-18:45 「むかわ竜迷子探し出せ」

令和元（2019）年7月4日 18:20-18:45 「恐竜が大暴走」

(3) ダーウィンが来た！「日本の恐竜王国！ 巨大恐竜続々登場！」（NHK 総合）

令和元（2019）年7月7日 19:30-20:00

(4) サラメシ シーズン9（第13回）「恐竜骨格のプロ」（NHK 総合）

内容：ゴビサポート・ジャパンの紹介 令和元（2019）年7月16日 19:30-20:00

<ラジオ>

(1) 「& .Love」（Air-G' FM 北海道）

内容：「自由研究」というテーマで恐竜についての説明

令和元（2019）年7月20日 9:00-9:15

(2) 「三宅民夫のマイあさ！」（NHK ラジオ）

令和元（2019）年8月23日 8:15-8:25

<出版物>



むかわ竜学名決定 報道会見（19.9.3）

- (1) 日本の古生物大研究／株式会社 PHP 研究所／令和元 (2019) 年 5 月 10 日発行
- (2) 絵本「いま ぼくは ここにいる」(監修:小林快次)／アリス館／令和元 (2019) 年 5 月 30 日発行
- (3) 連載日本を知る旅『日本の恐竜時代』／「一個人」226号／KK ベストセラーズ／令和元 (2019) 年 6 月 8 日発行
- (4) 「恐竜まみれ 発掘現場は今日も命がけ」(著:小林快次)／新潮社／令和元 (2019) 年 6 月 25 日発行
- (5) 「漫画 むかわ竜発掘記」(監修:小林快次)／株式会社誠文堂新光社／令和元 (2019) 年 6 月 27 日発行
- (6) 『日本の恐竜学 世界をこえる!』／「小学 8 年生」8・9月号／小学館／令和元 (2019) 年 6 月 27 日発行
- (7) 「はじめての恐竜図鑑 恐竜大行進 A to Z」／株式会社誠文堂新光社／令和元 (2019) 年 7 月 1 日発行
- (8) 動く図鑑 MOVEmini 「恐竜」／講談社／令和元 (2019) 年 7 月 1 日発行
- (9) 「日本最大級の全身骨格! むかわ竜」／子供の科学(第 82 巻 8 号)／誠文堂新光社／令和元(2019) 年 7 月 10 日
- (10) JT MOOK 「もしも恐竜がいたら?」図鑑／株式会社宝島社／令和元 (2019) 年 7 月 21 日発行
- (11) 「NHK スペシャル 恐竜超世界」(監修:小林快次・小西卓哉)／日経ナショナルジオグラフィック社／令和元 (2019) 年 7 月 23 日発行
- (12) DVD 「知られざる恐竜王国ニッポン」／NHK エンタープライズ／令和元 (2019) 年 7 月 26 日発行
- (13) DVD 「これが恐竜王国ニッポンだ!」／NHK エンタープライズ／令和元 (2019) 年 7 月 26 日発行
- (14) 「『むかわ竜』東京上陸!」／文藝春秋 (令和元年 8 月号)／株式会社文藝春秋／令和元 (2019) 年 8 月 1 日発行
- (15) 「世界恐竜大百科」／株式会社 学研プラス／令和元 (2019) 年 8 月 6 日発行
- (16) 「むかわ竜」／リアルサイズ古生物図鑑(中生代編)／株式会社技術評論社／令和元 (2019) 年 8 月 3 日発行
- (17) 「むかわ竜ってどんな恐竜?」(くもんなぜなぜカレンダー 2020)／くもん出版／令和元 (2019) 年 9 月発行
- (18) 「『むかわ竜』発掘物語」／ビッグイシュー日本版 366 号／有限会社ビッグイシュー日本／令和元 (2019) 年 9 月 1 日発行
- (19) 「恐竜博 2019 実物化石が語る新たな恐竜像」／日経サイエンス第 49 巻第 9 号／日経サイエンス社／令和元 (2019) 年 9 月 1 日発行
- (20) 「恐竜大発見」／ぼくらの恐竜 ジュラシックファンタジー／株式会社少年画報社／令和元 (2019) 年 9 月 2 日発行
- (21) 北海道大学総合博物館ニュース Museum News 第 39 号／北海道大学総合博物館／令和元 (2019) 年 9 月 15 日発行
- (22) 宇宙のとびら／公益財団法人 日本宇宙少年団／令和元 (2019) 年 9 月 30 日発行
- (23) 世界の鉱物・岩石・化石・貝大図鑑／株式会社スタジオタッククリエイティブ／令和元 (2019) 年 10 月 10 日発行
- (24) 2020 年中学入試用 サピックス 重大ニュース／代々木ライブラリー／令和元 (2019) 年 11 月 1 日発行



「漫画 むかわ竜発掘記」(19.6.27 発行)



絵本「いま ぼくは ここにいる」(19.5.30 発行)

- (25) テレビマガジン 12月号／株式会社 講談社／令和元 (2019) 年 12 月 1 日発行
- (26) 月刊 News がわかる 2020 年 1 月号／毎日新聞出版／令和 2 (2020) 年 1 月 15 日発行
- (27) 映画ドラえもん「のび太の新恐竜発掘ブック」／小学館／令和 2 (2020) 年 1 月 27 日
- (28) 学習まんが ドラえもん ふしぎのサイエンス「恐竜のサイエンス」／小学館／令和 2 (2020) 年 2 月 24 日発行
- (29) NHK DVD 教材 (令和 2 年度版) 国語指導資料 DVD 3 年「日本にもいたきょうりゅう」／NHK エンタープライズ／令和 2 (2020) 年 3 月 6 日発行
- (30) 「北大総合博物館のすごい標本」／北海道大学総合博物館／令和 2 (2020) 年 3 月 19 日発行
- <新聞>
- (1) 平成 31 (2019) 年 4 月 17 日 北海道新聞／夕／第 9 面(苦日)／「むかわ竜立った レプリカ完成」
- (2) 平成 31 (2019) 年 4 月 17 日 苫小牧民報／第 1 面／「むかわ竜立ち上がる レプリカ完成」
- (3) 平成 31 (2019) 年 4 月 17 日 読売新聞／夕／第 10 面／「『むかわ竜』全長 8 メートル 骨格標本完成」
- (4) 平成 31 (2019) 年 4 月 18 日 北海道新聞／朝／第 19 面 (地域の話)／「むかわ竜レプリカ製作に町民 6 人 苦労全員で乗り越えた」
- (5) 平成 31 (2019) 年 4 月 18 日 室蘭民報／第 11 面 (東胆振・日高)／「全身復元骨格迫力満点 『むかわ竜』発掘化石を基に制作」
- (6) 平成 31 (2019) 年 4 月 18 日 朝日新聞／朝／第 29 面 (道内)／「むかわ竜 8 メートルの姿披露 全身復元骨格標本」
- (7) 平成 31 (2019) 年 4 月 18 日 読売新聞／朝／第 35 面 (社会)／「全長 8 メートル むかわ竜骨格標本」
- (8) 平成 31 (2019) 年 4 月 18 日 毎日新聞／朝／第 25 面 (北海道)／「むかわ竜全身復元 化石 212 個から全長 8 メートル」
- (9) 平成 31 (2019) 年 4 月 21 日 読売新聞／朝／第 26 面 (道総合) <北海道こども新聞>／「むかわ竜レプリカ公開」
- (10) 令和元 (2019) 年 5 月 31 日 苫小牧民報／第 2 面／「『むかわ竜』が絵本に 全国の書店で販売」
- (11) 令和元 (2019) 年 6 月 4 日 苫小牧民報／第 3 面 (総合)／「むかわ竜 29、30 日 四季の館で公開」
- (12) 令和元 (2019) 年 6 月 16 日 朝日新聞／朝／第 18 面／「恐竜博 2019 『むかわ竜出現』」
- (13) 令和元 (2019) 年 6 月 18 日 北海道新聞／朝／第 27 面／「むかわ竜 29、30 日公開 道の駅で」
- (14) 令和元 (2019) 年 6 月 18 日 北海道新聞／夕／第 1 面／「むかわ竜『新種濃厚』」
- (15) 令和元 (2019) 年 6 月 19 日 北海道新聞／朝／第 1 面／(広告)「むかわ竜が絵本に！」
- (16) 令和元 (2019) 年 6 月 19 日 北海道新聞／朝／第 17 面 (地域の話)／「むかわ竜『新種濃厚』まちづくり活用に弾み」
- (17) 令和元 (2019) 年 6 月 19 日 北海道新聞／朝／第 32 面 (第 2 社会)／「むかわ竜 新属新種か」
- (18) 令和元 (2019) 年 6 月 19 日 苫小牧民報／第 1 面／「むかわ竜 新種の可能性濃厚」
- (19) 令和元 (2019) 年 6 月 19 日 室蘭民報／第 1 面／「『むかわ竜』新属新種濃厚 道内初、正式決定へ」
- (20) 令和元 (2019) 年 6 月 19 日 室蘭民報／第 11 面 (東胆振・日高)／「むかわ竜新属新種濃厚 復興途上のマチに朗報」
- (21) 令和元 (2019) 年 6 月 19 日 朝日新聞／朝／第 26 面 (道内)／「『むかわ竜』新種 期待高まる地元」
- (22) 令和元 (2019) 年 6 月 19 日 読売新聞／朝／第 30 面 (社会)／「むかわ竜『新種可能性』」
- (23) 令和元 (2019) 年 6 月 29 日 北海道新聞／夕／第 7 面／「むかわ竜 姿現す」
- (24) 令和元 (2019) 年 7 月 1 日 朝日新聞／朝／20 面 (道内)／「『むかわ竜』本物に大興奮 全身骨格公開に恐竜ファン 4000 人」
- (25) 令和元 (2019) 年 7 月 1 日 苫小牧民報／2 面／「『むかわ竜』公開は大盛況 2 日間で 4000 人来場」
- (26) 令和元 (2019) 年 7 月 2 日 北海道新聞／朝／15 面 (地域の話)／「『むかわ竜』出張準備着々 国立科学博物館に出張」
- (27) 令和元 (2019) 年 7 月 2 日 毎日新聞／朝／21 面 (北海道)／「『むかわ竜』全身復元骨格を公開」
- (28) 令和元 (2019) 年 7 月 3 日 苫小牧民報／2 面／「『むかわ竜』モデルの絵本作者 2 人にインタビュー」
- (29) 令和元 (2019) 年 7 月 11 日 朝日新聞／朝／31 面 (社会)／「恐竜博 2019 13 日から」
- (30) 令和元 (2019) 年 7 月 10 日 苫小牧民報／2 面／「むかわ竜 全国デビュー (上)」
- (31) 令和元 (2019) 年 7 月 11 日 苫小牧民報／1 面／「あす開幕 恐竜博 2019 地元小学生東京へ」

- 出発」
- (32) 令和元 (2019) 年 7 月 11 日 苫小牧民報 / 2 面 / 「むかわ竜 全国デビュー (下)」
- (33) 令和元 (2019) 年 7 月 13 日 朝日新聞 / 朝 / 31 面 (社会) / 「恐竜博 2019 きょう開幕」
- (34) 令和元 (2019) 年 7 月 13 日 苫小牧民報 / 1 面 / 「むかわ竜に来場者興奮 東京で恐竜博開幕」
- (35) 令和元 (2019) 年 7 月 14 日 北海道新聞 / 朝 / 28 面 (第 3 社会) / 「むかわ竜 初の道外展示」
- (36) 令和元 (2019) 年 7 月 15 日 苫小牧民報 / 2 面 / 「むかわ竜大人気 東京・恐竜博」
- (37) 令和元 (2019) 年 7 月 15 日 北海道新聞 / 朝 / 3 面 (総合) / 「注目高まる『むかわ竜』 国立科博展示に列」
- (38) 令和元 (2019) 年 7 月 19 日 苫小牧民報 / 5 面 (グラフ) / 「恐竜博 2019 貴重な化石や全身復元骨格」
- (39) 令和元 (2019) 年 7 月 20 日 北海道新聞 / 朝 / 17 面 (地域の話) / 「むかわ竜 学者の意識変えた 真鍋真」
- (40) 令和元 (2019) 年 7 月 27 日 苫小牧民報 / 1 面 / 「むかわ竜 全国から注目」
- (41) 令和元 (2019) 年 7 月 28 日 しんぶん赤旗 (日曜版) / 16 面 / 「全長 8 メートルぜひ体感して」
- (42) 令和元 (2019) 年 7 月 30 日 北海道新聞 / 朝 / 27 面 (第 4 社会) / 「むかわ竜『出張用』に複製 2 体目製作へ」
- (43) 令和元 (2019) 年 7 月 31 日 苫小牧民報 / 2 面 / 「むかわ竜レプリカ 新たに製作へ」
- (44) 令和元 (2019) 年 9 月 2 日 苫小牧民報 / 2 面 / 「むかわ竜レプリカ製作へ ネットで資金調達開始」
- (45) 令和元 (2019) 年 9 月 6 日 北海道新聞 / 朝 / 1 面 / 「むかわ竜は『カムイサウルス』 道内初新属新種に認定」
- (46) 令和元 (2019) 年 9 月 6 日 朝日新聞 / 朝 / 1 面 / 「むかわ竜 学名は『カムイサウルス』」
- (47) 令和元 (2019) 年 9 月 6 日 朝日新聞 / 朝 / 27 面 (道内) / 「震災 1 年後の『新種』発表 むかわ竜に復興の期待」
- (48) 令和元 (2019) 年 9 月 6 日 毎日新聞 / 朝 / 25 面 (社会) / 「むかわ竜学名 カムイサウルス」
- (49) 令和元 (2019) 年 9 月 6 日 読売新聞 / 朝 / 33 面 (社会) / 「むかわ竜 新種と判明 学名に『カムイ』」
- (50) 令和元 (2019) 年 9 月 6 日 苫小牧民報 / 1 面 / 「むかわ竜 道内初新属新種に『カムイサウルス』」
- (51) 令和元 (2019) 年 9 月 6 日 苫小牧民報 / 22 面 (第 2 社会) / 「復興の象徴『むかわ竜』」
- (52) 令和元 (2019) 年 9 月 6 日 室蘭民報 / 1 面 / 「むかわ竜、新種認定 学名は『カムイサウルス』」
- (53) 令和元 (2019) 年 9 月 6 日 室蘭民報 / 14 面 (東胆振・日高) / 「新属新種カムイサウルス 恐竜研究大きな一歩」
- (54) 令和元 (2019) 年 9 月 7 日 北海道新聞 / 朝 / 6 面「一筆軽笑」 / 「むかわ竜『カムイサウルス』に」
- (55) 令和元 (2019) 年 9 月 13 日 北海道新聞 / 朝 / 23 面 (文化・金曜カフェ) / 「小林快次教授 恐竜のおもしろさ多彩に発信」
- (56) 令和元 (2019) 年 9 月 19 日 北海道新聞 / 夕 / 11 面 (漫画) / むかわ竜の学名紹介
- (57) 令和元 (2019) 年 9 月 21 日 朝日新聞 / 土曜版 be / 6-7 面「みちものがたり」 / 「『むかわ竜』発掘への道」
- (58) 令和元 (2019) 年 9 月 21 日 苫小牧民報 / 10 面 (みんなのこどもニュース) / 「むかわ竜、新種だった 学名『カムイサウルス・ジャポニクス』」
- (59) 令和元 (2019) 年 9 月 5 日 朝日新聞 / 朝 / 第 1 面「天声人語」
- (60) 令和元 (2019) 年 9 月 28 日 朝日新聞 / 朝 / 第 2 面 (総合 2) 「ひと」 / 「『むかわ竜』の化石を最初に発見した 堀田良幸さん」
- (61) 令和元 (2019) 年 10 月 2 日 苫小牧民報 / 第 15 面 (第 1 社会) / 「おかえり『むかわ竜』 大役果たし帰郷 イベント開催」
- (62) 令和元 (2019) 年 10 月 6 日 北海道新聞 / 朝 / 第 15 面 (くらし) 「親と子サンデー」 / 「新種むかわ竜の魅力は 発掘調査を指揮 小林・北大教授に聞く」
- (63) 令和元 (2019) 年 10 月 10 日 どうしん「とまこむ プラス」 No.349 / 第 1 面 / 「特集 行ってみよう! むかわ町」
- (64) 令和元 (2019) 年 10 月 19 日 北海道新聞 / 朝 / 第 17 面 (地域の話) / 「東京の恐竜博に 68 万人」
- (65) 令和元 (2019) 年 10 月 26 日 北海道新聞 / 朝 / 第 19 面 (地域の話) / 「むかわ竜おかえり 一般公開、北大教授講演も」
- (66) 令和元 (2019) 年 10 月 27 日 産経新聞 / 第 9 面 (特集) 科学 / 「新種の恐竜カムイサウルス 大繁栄時代 日本から発信」
- (67) 令和元 (2019) 年 11 月 5 日 北海道新聞 / 朝 / 第 12 面 (地域の話) / 「むかわ竜ひさしぶり

イベントに 800 人」

- (68) 令和元 (2019) 年 11 月 6 日 苫小牧民報／第 2 面／「お帰りなさい! むかわ竜」
- (69) 令和元 (2019) 年 11 月 6 日 苫小牧民報／第 2 面／「『固有の特徴 日本の宝』 穂別でまちづくりワークショップ」
- (70) 令和元 (2019) 年 12 月 10 日 北海道新聞／朝／第 14 面 (地域の話)／「よくかんで食べたベジタリアン 北大・小林教授が講演」
- (71) 令和元 (2019) 年 12 月 10 日 北海道新聞／朝／第 14 面 (地域の話)／「カムイサウルス複製 2 体目製作」
- (72) 令和元 (2019) 年 12 月 10 日 北海道新聞／朝／第 4 面 (広告のページ)／「発掘現場で 100 年前の帽子 むかわ」
- (73) 令和元 (2019) 年 12 月 10 日 苫小牧民報／第 2 面／「むかわ竜レプリカ 年内展示は 15 日まで」
- (74) 令和元 (2019) 年 12 月 27 日 読売新聞／朝／第 22 面 (道総合)「ほっかいどう顔」／「むかわ竜にわくわく むかわ町穂別博物館長 櫻井和彦」
- (75) 令和元 (2019) 年 12 月 31 日 苫小牧民報／第 4 面・第 5 面 (ドキュメント)「2019 ニュースドキュメント」／「6 月 18 日 むかわ竜に新種の可能性」「6 月 29 日 むかわ竜レプリカ公開」「7 月 13 日 むかわ竜展示、東京で恐竜博開幕」
- (76) 令和 2 (2020) 年 1 月 1 日 苫小牧民報／第 2 部 (総合 2) 第 7 面／「新章突入カムイサウルス 日本の財産世界も注目」
- (77) 令和 2 (2020) 年 1 月 10 日 北海道新聞／朝／第 15 面 (地域の話)／「むかわ竜 道庁へ“出張”」
- (78) 令和 2 (2020) 年 1 月 14 日 苫小牧民報／第 3 面／「むかわ竜 道庁で初展示へ」
- (79) 令和 2 (2020) 年 1 月 15 日 北海道新聞／朝／第 29 面 (第 4 社会)／「知っ得北海道「むかわ竜の複製 道庁で展示」
- (80) 令和 2 (2020) 年 1 月 17 日 苫小牧民報／第 3 面／「道庁にむかわ竜襲来」
- (81) 令和 2 (2020) 年 1 月 17 日 週刊まんまる新聞 第 1752 号 (くらしの新聞社)／第 4 面／「むかわ竜に会いに行こう! in 道庁」
- (82) 令和 2 (2020) 年 3 月 30 日 毎日小学生新聞 第 29223 号 (毎日小学生新聞編集部)／第 5 面／大昔のいきもの 133 「昨年命名 日本の恐竜」

#### 【ホベツアラキリュウ】

#### <報道会見>

全身復元骨格修正に関する報道会見  
日時：令和元 (2019) 年 6 月 13 日 13:00-  
会場：有限会社ゴビサポートジャパン穂別工場 (むかわ町穂別)  
説明者 佐藤たまき准教授 (東京学芸大学)  
司会 西村学芸員

#### <出版物>

- (1) 日本の古生物大研究／株式会社 PHP 研究所／令和元 (2019) 年 5 月 10 日発行
- (2) 連載日本を知る旅『日本の恐竜時代』／「一個人」226 号／KK ベストセラーズ／令和元 (2019) 年 6 月 8 日発行
- (3) 「もしも恐竜がいたら?」図鑑／株式会社宝島社／令和元 (2019) 年 7 月 21 日
- (4) 映画ドラえもん「のび太の新恐竜発掘ブック」／小学館／令和 2 (2020) 年 1 月 27 日

#### <新聞記事>

- (1) 令和元 (2019) 年 6 月 14 日 室蘭民報／第 12 面 (東胆振・日高)／「ホベツアラキリュウの化石再調査 レプリカ修復し公開」
- (2) 令和元 (2019) 年 6 月 14 日 朝日新聞／朝／第 26 面 (道内)／「『ホベツアラキリュウ』本物近づく 37 年ぶり骨格修正」
- (3) 令和元 (2019) 年 6 月 15 日 北海道新聞／朝／第 18 面 (苫小牧)／「ホベツアラキリュウに新事実 穂別博物館 37 年ぶりレプリカ修正」
- (4) 令和元 (2019) 年 6 月 15 日 苫小牧民報／第 2 面／「ホベツアラキリュウ全身骨格 37 年ぶりに修正」
- (5) 令和元 (2019) 年 6 月 15 日 毎日新聞／朝／第 23 面 (北海道)／「首長竜レプリカ 37 年ぶり修正」

#### 【フォスフォロサウルス】

#### <報道会見>

全身復元骨格完成報道会見  
日時：平成 31 (2019) 年 4 月 24 日 14:00-  
会場：むかわ町穂別博物館 特別展示室  
説明者 新村龍也学芸員 (足寄動物化石博物館・製作者)  
竹中喜之町長 (むかわ町)  
西村智弘学芸員  
司会 櫻井和彦館長

#### <出版物>

- (1) 連載日本を知る旅『日本の恐竜時代』／「一個人」226 号／KK ベストセラーズ／令和元 (2019) 年 6 月 8 日発行



- (2) 「もしも恐竜がいたら？」図鑑／株式会社宝島社／令和元（2019）年7月21日
- (3) 「はじめての恐竜図鑑 恐竜大行進A to Z」／株式会社誠文堂新光社／令和元（2019）年7月1日発行
- (4) 「フォスフォロサウルス」／リアルサイズ古生物図鑑（中生代編）／株式会社技術評論社／令和元（2019）年8月3日発行
- (5) 映画ドラえもん「のび太の新恐竜発掘ブック」／小学館／令和2（2020）年1月27日

<新聞記事>

- (1) 令和元（2019）年4月25日 北海道新聞／朝／第31面（第4社会）／「むかわで発見モササウルス 国内初の全身骨格複製」
- (2) 令和元（2019）年4月25日 苫小牧民報／第17面（第1社会面）／「むかわ町穂別発見のモササウルス新種 復元骨格の複製品完成」
- (3) 令和元（2019）年4月25日 室蘭民報／第1面／「全身復元骨格を公開 モササウルス類新種」
- (4) 令和元（2019）年4月25日 室蘭民報／第11面（東胆振・日高）／「完成した新種海生は虫類のレプリカ 貴重な財産また一つ」
- (5) 令和元（2019）年4月25日 朝日新聞／朝／第22面（道内）／「モササウルスの全身復元骨格完成 全長3.4メートルむかわの穂別博物館で公開」
- (6) 令和元（2019）年4月25日 読売新聞／朝／第32面（道総合）／「モササウルス骨格復元」
- (7) 令和元（2019）年4月26日 毎日新聞／朝／第26面（北海道）／「モササウルス類全身骨格の複製」
- (8) 令和元（2019）年8月5日 朝日新聞／朝／17面（科学の扉）／「海に君臨モササウルス」

【その他の化石】

<出版物等>

- (1) 「世界の鉱物・岩石・化石・貝大図鑑」／株式会社スタジオタッククリエイティブ／令和元（2019）年10月10日発行（ホベツアラキリュウ、フォスフォロサウルス、メソダーモケリス）
- (2) 「光る化石 美しい石になった古生物たちの図鑑」／株式会社 日東書院本社／令和元（2019）年10月15日発行（アンモナイト）
- (3) 「日本の古生物たち」／株式会社笠倉出版社／令和元（2019）年12月23日発行（カムイサウルス、ホベツアラキリュウ、モササウルス、フォスフォロサウルス、メソダーモケリス、アノマロケリス、イノセラムス等）

<新聞記事>

- (1) 令和元（2019）年12月31日 苫小牧民報／第4面・第5面（ドキュメント）「2019 ニュースドキュメント」／「3月26日 日高、新冠両町境の里平地域でアンモナイト新種発見-穂別博物館で公開」
- (2) 令和2（2020）年1月17日 北海道新聞／朝／第19面（地域の話）／日胆穴めぐり「7200万年前のオサガメ=むかわ町」

【博物館の紹介等】

<出版物等>

- (1) 「ズウさんのご当地探訪<むかわ町の巻>『恐竜見つけをたのしんで(その2)』」／生活協同組合コープさっぽろ 宅配トック会報／令和元（2019）年5月発行
- (2) 「ホッピーとむかわ竜に会いに行く」／北海道図鑑／JTBパブリッシング／令和元（2019）年5



ホベツアラキリュウ復元骨格修正報道会見（19.6.13）



フォスフォロサウルス全身復元骨格完成報道会見（19.4.24）

月1日発行

- (3) 地球科学者は語る vol. 13 『“恐竜の博物館”になるということ』／「ジオルジュ」一般社団法人日本地質学会／令和元(2019)年5月10日発行  
＜新聞記事＞

- (1) 令和元(2019)年4月26日 北海道新聞／朝／第19面(地域の話)／「ゴールデンウィークガイド」にて穂別博物館の展示を紹介
- (2) 令和元(2019)年4月29日 北海道新聞／朝／第13面(特集「平成から令和へ 道内年表平成21年～31年」)／「平成29年4月27日 胆振管内むかわ町で発掘された恐竜化石が国内最大の全身骨格と判明」
- (3) 令和元(2019)年6月23日 北海道新聞／日曜版 日曜navi／「時を訊ねて むかわ・穂別地区」第2面／よりみち「むかわ町穂別博物館」
- (4) 令和元(2019)年8月21日 北海道新聞／朝／16面(地域の話)「希望通信」／「化石を生かし町を元気に」
- (5) 令和元(2019)年9月6日 北海道新聞／朝／17面(特集)／「胆振東部地震1年 いま、伝えたい」
- (6) 令和元(2019)年9月13日 北海道新聞／夕／7面(苫小牧・札幌圏)「魅力再発見 続北海道遺産13」／「むかわ町穂別の古生物化石群」

#### 【普及講演会】

＜新聞記事＞

- (1) 令和元(2019)年11月26日 苫小牧民報／第2面／『丹波竜』発見の地層を説明 兵庫県立大三枝准教授が講演」

#### 【北海道大学総合博物館との相互協力協定】

＜新聞記事＞

- (1) 令和元(2019)年8月23日 苫小牧民報／1面／「むかわ町と北大総合博物館 協力協定を改定」
- (2) 令和元(2019)年8月24日 北海道新聞／朝／29面(第4社会)／「むかわ竜で地域振興 町と北大博物館が協力協定」
- (3) 令和元(2019)年8月26日 苫小牧民報／1面(NEWSプラスα)／「むかわ町・北大総合博物館 相互協力協定を改定」

#### 【盗難未遂事件】

＜新聞記事＞

- (1) 令和元(2019)年5月18日 苫小牧民報／第17面(第1社会面)／「恐竜化石のガラスケース壊

される むかわ町の穂別博物館」

- (2) 令和元(2019)年5月22日 北海道新聞／朝／第26面(地域の話)／「化石のケース割られる 穂別博物館」

#### 【その他】

＜出版物＞

- (1) 「モササウルス類生体復元模型写真」／韓国版こどもチャレンジ／ベネッセコーポレーション／令和元(2019)年8月発行

＜新聞記事＞

- (1) 令和元(2019)年5月22日 北海道新聞／朝／第27面(第4社会)／「新千歳に3D むかわ竜 JTB 外国人客誘致へ実験」
- (2) 令和元(2019)年6月1日 苫小牧民報／第2面／「むかわ竜を学ぶ 鷗川中1年生『むかわ学』授業の一環」
- (3) 令和元(2019)年6月8日 北海道新聞／朝／第14面(地域の話)／「むかわ竜発見過程知った 鷗川中生」
- (4) 令和元(2019)年6月10日 苫小牧民報／第3面(総合)／「鷗川中1年生『むかわ学』の授業で化石発掘やクリーニング体験」
- (5) 令和元(2019)年6月24日 北海道新聞／朝／第15面(地域の話)／「むかわ竜ツアー 町民も」
- (6) 令和元(2019)年7月4日 苫小牧民報／2面／「化石発掘体験ツアー 参加者募集」
- (7) 令和元(2019)年7月5日 苫小牧民報／2面／「むかわ竜考察を発表 鷗川中1年」
- (8) 令和元(2019)年7月8日 苫小牧民報／2面／「四季の館 休憩所に巨大イメージ画」
- (9) 令和元(2019)年7月29日 北海道新聞／15面(地域の話)／「恐竜化石に感謝 巨大模型に『好物』供える」
- (10) 令和元(2019)年7月30日 朝日新聞／朝／24面(道内)／「むかわ『ほべつ恐竜館まつり』」
- (11) 令和元(2019)年9月13日 室蘭民報／12面(東胆振・日高)／「町、恐竜ワールド構想推進へ」
- (12) 令和元(2019)年12月10日 苫小牧民報／第2面／「道議会有志が来町 恐竜のまちづくりで意見交換」
- (13) 令和元(2019)年12月10日 苫小牧民報／2面／「『むかわ竜は9歳の大人』研究者が解説」
- (14) 令和2(2020)年2月24日 苫小牧民報／2面／「『むかわ竜』のまちで一年学習 『化石くらぶ』調査発表」

# 資料収集保存活動

## I 登録資料等

### 【博物館登録資料数】

自然史系登録資料 (HMG) <地質・化石資料> : 1,686 点  
自然系登録資料 (HMB) <現生動植物資料> : 167 点  
人文系登録資料 (HMC) <民俗・歴史資料> : 3,761 点  
計 5,614 点 (2020.3.31. 現在)

### 【タイプ等】

HMG-12 : *Mosasaurus hobetsuensis* Suzuki, 1985 のホロタイプ (新種)  
HMG-387 : *Kentriodon hobetsu* Ichishima, 1994 のホロタイプ (新種)  
HMG-5 : *Mesodermochelys undulatus* Hirayama and Chitoku, 1996 のホロタイプ (新属新種)  
HMG-1065 : *Mosasaurus prismaticus* Sakurai et al., 1999 のホロタイプ (新種)  
HMG-1056 : *Anomalochelys angulata* Hirayama et al., 2001 のホロタイプ (新属新種)  
HMG-1573 : *Gaudryceras hobetsense* Shigeta and Nishimura, 2013 のホロタイプ (新種)  
(パラタイプ : HMG-134、HMG-1592)  
HMG-1587a,b,c,d : *Phylloptychoceras horitai* Shigeta and Nishimura, 2013 のホロタイプ・パラタイプ (新種)  
HMG-136 : *Anagaudryceras compressum* Shigeta and Nishimura, 2014 のホロタイプ (新種)  
(パラタイプ : HMG-1594、HMG-1595、HMG-1596、HMG-1597、HMG-1626)  
HMG-1528 : *Phosphorosaurus ponpetelegans* Konishi et al., 2016 のホロタイプ (新種)  
HMG-1660 : *Didymoceras hidakense* Shigeta, 2016 のホロタイプ (新種)  
(パラタイプ : HMG-1661、HMG-1662、HMG-1663、HMG-1664、HMG-1665、HMG-1666)  
HMG-1848 : *Neophylloceras nodsum* Shigeta, 2019 のホロタイプ (新種)  
HMG-1913 : *Menuites armatus* Shigeta, 2019 のホロタイプ (新種)  
HMG-1955 : *Parasolenoceras ribiraense* Shigeta, 2019 のホロタイプ (新種)  
(パラタイプ : HMG-1956, 1957)  
HMG-1219 : *Kamuysaurus japonicus* Kobayashi et al., 2019 のホロタイプ (新属新種)

### 【町指定文化財】

むかわ町指定文化財登録番号第 4 号 フォスフォロサウルス・ポンペテレガンス (平成 29 年 4 月 1 日指定)  
むかわ町指定文化財登録番号第 5 号 モササウルス・ホベツエンシス (平成 29 年 4 月 1 日指定)  
むかわ町指定文化財登録番号第 6 号 メソダーモケリス・ウンデュラータス (平成 29 年 4 月 1 日指定)  
むかわ町指定文化財登録番号第 7 号 アノマロケリス・アングラータ (平成 29 年 4 月 1 日指定)  
むかわ町指定文化財登録番号第 8 号 ティロサウルス (種未定) (平成 29 年 4 月 1 日指定)  
むかわ町指定文化財登録番号第 9 号 モササウルス・プリズマティクス (平成 29 年 4 月 1 日指定)  
むかわ町指定文化財登録番号第 10 号 ケントリオドン・ホベツ (平成 29 年 4 月 1 日指定)

### 【北海道指定文化財】

北海道指定文化財 (登録番号第 34 号) : ホベツアラキリュウ化石骨 (HMG-1) (平成 29 年 9 月 29 日指定)

### 【北海道遺産】

北海道遺産 (登録番号第 63 号) : 「むかわ町穂別の古生物化石群」 (平成 30 年 11 月 1 日認定)

## II 新規受入資料 (寄贈)

受入番号：寄贈資料 (点数) / 寄贈者名 (敬称略)

### 【自然史系資料 (HMG)】 (化石・地質)

- 2019-001：アンモナイト顎器 (1) / 阿部純也 (苫小牧市)
- 2019-002：現生貝類 (4) / 野村真一 (千葉県立木更津高校)
- 2019-003：新生代貝化石 (8) / 野村真一 (千葉県立木更津高校) (木更津高校から移管)
- 2019-004：巻貝化石 (1) / 大頭龍一 (むかわ町穂別)
- 2019-005：アンモナイトほか化石 (31) / 福本左一 (むかわ町穂別)
- 2019-006：アンモナイトほか化石など (31) / 山岡利汎 (むかわ町穂別)
- 2019-007：二枚貝化石 (1) / 福本左一 (むかわ町穂別)
- 2019-008：アンモナイト *Nipponites* (3) / 伊豆倉正孝 (札幌市)
- 2019-009：穂別産アンモナイトなど (化石・岩石) (1,257) / 森谷彰 (元・穂別町)
- 2019-010：魚の歯化石 (1) / 遠藤大騎 (浦河町)
- 2019-011：三葉虫 (1) 移管
- 2019-012：宮古層群 (岩手県田野畑村) 化石ほか / 渡部恒男採集・移管

## III 新規登録資料

登録番号：資料名 / 受入番号 / 寄贈 (採集) 者名 (敬称略)

- HMG-1996：アンモナイト *Nipponites mirabilis* / 2019-008 / 伊豆倉正隆
- HMG-1997：アンモナイト *Nipponites mirabilis* / 2019-008 / 伊豆倉正隆
- HMG-1998：アンモナイト *Nipponites mirabilis* / 2019-008 / 伊豆倉正隆

## IV 収蔵資料の活用 (研究)

### 【貸出 (研究)】

- [自然史系資料 (HMG)] (11 件)
- (1) HMG-366、HMG-367、HMG-1053、HMG-1054、HMG-1055 (ウミガメ化石) 5 点：平山廉 (早稲田大学) <平成 6(1994) 年 8 月 17 日～>
- (2) HMG-1063、HMG-1064 (ウミガメ化石) 2 点：平山廉 (早稲田大学) <平成 7(1995) 年 5 月 11 日

～>

- (3) HMG-1443、HMG-1444 (カサガイ付きアンモナイト) 2 点：加瀬友喜 (国立科学博物館) <平成 21(2009) 年 7 月 9 日～>
- (4) HMG-0399 (アンモナイト) 1 点：前田晴良 (京都大学) <平成 23(2011) 年 10 月 17 日～>
- (5) HMG-0357 (長頸竜化石) 1 点：佐藤たまき (東京学芸大学) <平成 23(2011) 年 11 月 25 日～>
- (6) アンモナイト (2016-002、2016-003、2016-005、2016-007、2016-008) 計 5 点：前田晴良 (九州大学総合研究博物館) <平成 29(2017) 年 11 月 1 日～>
- (7) HMG-0041 (アンモナイト *Baculites rex*) 1 点：重田康成 (国立科学博物館) <平成 30(2018) 年 7 月 10 日～令和 2(2020) 年 7 月 10 日>
- (8) アンモナイト *Takahashiceras* 第四標本 (1 点)：重田康成 (国立科学博物館) <平成 30(2018) 年 12 月 12 日～令和 2(2020) 年 12 月 11 日>
- (9) HMG-387 (ケントリオドン・ホベツ ホロタイプ) 1 点：松井久美子 (九州大学総合研究博物館特別研究員) <令和元 (2019) 年 10 月 20 日～22 日>
- (10) HMG-1101 (アンモナイト *Nostoceras*) 1 点：兵庫県立人と自然の博物館 <平成 31 (2019) 年 4 月 9 日返却>
- (11) HMG-1524 (アンモナイト *Takahashiceras*) 1 点：重田康成 (国立科学博物館) <令和 2(2020) 年 1 月 20 日～12 月 31 日>

## VI 収蔵資料の活用 (研究以外)

### 【貸出 (展示)】

- [自然史系資料 (HMG)] (6 件)
- (1) アンモナイト (HMG-626) 1 点：神戸典臣事務所 (白



北海道遺産サミット (19.12.5)

- 老郡白老町) <平成 30 (2018) 年 10 月 31 日～>
- (2)HMG-1219(むかわ竜: 胴椎 1 点、肋骨 1 点、歯 2 点) 計 4 点: ミュージアムパーク茨城県自然博物館 (「第 74 回企画展 体験! 発見! 恐竜研究所 ようこそ未来の研究者」) <～令和元 (2019) 年 6 月 9 日>
- (3)HMG-1219 (むかわ竜: 全身骨格)、HMG-1 (ホベツアラキリュウ: 左後肢 28 点<肋骨 8 点、指骨 20 点>、頸椎 2 点)、HMG-1528 (フォスフォロサウルス: 頭骨 22 点、頸椎 7 点、肋骨 2 点)、むかわ竜全身復元骨格レプリカ、ホベツアラキリュウ全身復元骨格レプリカ、フォスフォロサウルス・ポンペテレガンス全身復元骨格レプリカ HMG-1814 (ティラノサウルス「スコッティ」レプリカ): 株式会社 NHK プロモーション (国立科学博物館「恐竜博 2019」) <令和元 (2019) 年 6 月 24 日～10 月 30 日>
- (4) アンモナイト化石 (1 点)、むかわ竜頭骨レプリカ (1 点)、むかわ竜実物化石 (3 点) 計 5 点: NHK ラジオセンター子ども科学電話相談 (「NHK 夏休み子ども科学電話相談」/むかわ町 道の駅「四季の館」大ホール) <令和元 (2019) 年 8 月 4 日>
- (5) 穂別博物館紹介パネル: むかわ町役場恐竜ワールド戦略室 (新千歳空港国際線ターミナル) <令和元 (2019) 年 8 月 27 日～10 月 31 日>
- (6)HMG-1996、HMG-1997、HMG-1998 (アンモナイト *Nipponites*) 3 点: 日本古生物学会 (企画担当) ロバート・ジェンキンス<令和元 (2019) 年 9 月 12 日～>

【貸出 (普及教育)】 (9 件)

- (1) 化石レプリカ型 (全 32 種・2 組)、化石レプリカ解説シート、水計量用カップ (10 個)、計量秤 (10 台)

- : むかわ町役場恐竜ワールド戦略室 (環境広場さっぽろ 2019 「環境 ZONE・環境ワークショップ」/札幌ドーム) <令和元 (2019) 年 8 月 12 日～13 日>
- (2) アンモナイトレプリカ型 (12 個): 北海道鶴川高等学校<令和元 (2019) 年 8 月 22 日～10 月 6 日>
- ①令和元年度北海道鶴川高等学校学校説明会 (8 月 24 日)
- ②「青少年のための科学の祭典 in 北海道 2019」 (9 月 28 日)
- ③「'19 青少年のための科学の祭典 苫小牧大会」 (10 月 6 日)
- (3) 化石レプリカ型 (全 32 種・1 組)、化石レプリカ解説シート、水計量用カップ (10 個)、計量秤 (10 台): むかわ町役場恐竜ワールド戦略室 (「胆振四大遺産 PR in 宮古」宮古市産業まつり/岩手県宮古市) <令和元 (2019) 年 9 月 30 日～10 月 10 日>
- (4) ゴーグル (小人用 10、大人用 20)、ピック (30)、ハンマー (小人用 10、大人用 20)、クリーニング用道具 (30 セット)、ブルーシート (6): むかわ町役場恐竜ワールド戦略室 (「JTB 地球いきいきプロジェクト」/恐竜化石発掘現場・アースギャラリー) <令和元 (2019) 年 10 月 6 日>
- (5) ゴーグル (大人用 7)、ピック (7)、ハンマー (大人用 7)、クリーニング用道具 (7 セット)、ブルーシート (1): むかわ町役場恐竜ワールド戦略室 (「株式会社 JTB 協定旅館ホテル連盟道央支部研修会」/恐竜化石発掘現場・アースギャラリー) <令和元 (2019) 年 10 月 17 日>
- (6) アンモナイトレプリカ (1)、アンモナイトレプリカ型 (1): あいおい子ども園 (恵庭市) (クラス活動のため) <令和元 (2019) 年 11 月 14 日～12



「環境広場さっぽろ 2019」 (19.8.12-13)



「むかわ竜に会いに行こう! in 道庁」 (20.1.17)

月1日>

- (7) カムイサウルスレプリカ (頭骨1、大腿骨1、胴椎1)、アンモナイトレプリカストラップ資材一式：むかわ町役場恐竜ワールド戦略室 (「ICTで動き出す! お絵かき恐竜」/札幌駅前地下歩行空間) <令和元(2019)年12月6日~8日>
- (8) カムイサウルスレプリカ (頭骨1、大腿骨1)、アンモナイトレプリカストラップ資材一式：むかわ町役場恐竜ワールド戦略室 (「むかわ竜に会いに行こう! in 道庁」<主催：北海道胆振総合振興局>) <令和2(2020)年1月17日(金)>
- (9) むかわ竜頭骨レプリカ、大腿骨レプリカほかの貸し出し：むかわ町役場恐竜ワールド戦略室 (「さっぽろ雪まつりPR事業」つどいむ会場/札幌市スポーツ交流施設コミュニティドーム) <令和2(2020)年1月29日~2月11日>

**【写真等提供 (展示・出版・報道等)】 (54件)**

- (1) 博物館外観・資料写真 計10点：大和治生(札幌市・当館協力者) (手稲中央小学校展示コーナー) <平成31(2019)年4月~>
- (2) むかわ竜化石骨写真 (発見時) 1点：NHK総合テレビ (ミニ番組「よみがえるむかわ竜」第2回「恐竜発見に沸く 化石の町穂別」<2分> 胆振日高向けテレビ放送) <令和元(2019)年5月下旬以降(随時放送)>
- (3) ホベツアラキリュウ全身復元骨格写真 1点：株式会社ダイツウ (JTBタブロイド紙「FREEほっかいどう」) <令和元(2019)年6月発行>
- (4) むかわ竜骨格写真・発掘写真 (3点)、博物館展示物写真 (3点) 計6点：株式会社アリス館 (「きょうりゅうのサン いまぼくはここにいる」イベント用パネル作製・絵本購入者に配布) <令和元(2019)年6月20日発行>
- (5) 博物館外観写真・むかわ竜写真ほか 4点：株式会社G.B.(宝島社JT MOOK「もしも恐竜がいたら? 図鑑」) <令和元(2019)年6月21日発行>
- (6) むかわ竜骨化石ほか 4点：株式会社小学館 (小学館学習月刊誌「小学8年生」) <令和元(2019)年7月1日発行>
- (7) むかわ竜全身復元骨格標本写真 1点：株式会社アルバ (「NHKプロフェッショナル仕事の流儀」電子版) <令和元(2019)年7月1日発行>
- (8) むかわ竜発掘現場写真 1点：株式会社講談社 (図鑑「MOVEmini 恐竜」) <令和元(2019)年7月1日発行>
- (9) むかわ竜写真 5点 (むかわ竜全身化石写真1点、むかわ竜尾椎骨写真1点、むかわ竜発掘現場写真3点)：御船町恐竜博物館 (令和元年度特別展「肉食恐竜~ミフネリュウ発見から40年~」) <令和元(2019)年7月10日制作>
- (10) むかわ竜化石発掘写真 (2013年9月4日付) 1点：株式会社誠文堂新光社 (子供の科学2019年8月号) <令和元(2019)年7月10日発行>
- (11) むかわ竜発掘写真、むかわ竜産出状況図、むかわ竜復元骨格写真 計3点：南日本新聞社 (「大恐竜展2019」における展示・広報) <令和元(2019)年7月12日制作>
- (12) むかわ竜全身復元骨格標本写真 1点：株式会社学研プラス (学研図鑑「世界恐竜大百科」) <令和元(2019)年7月23日発行>
- (13) 展示資料写真 3点 (ホベツアラキリュウ全身復元骨格・モササウルス類生体復元模型・アンモナイト)：JTBパブリッシング (るるぶKids「恐竜の全身骨格や化石が迫力の博物館12選!」) <令和元(2019)年7月~(順次公開)>
- (14) むかわ竜全身骨格標本写真 1点：鶴川アマチュア無線クラブ (QSLカード<鶴川アマチュア無線クラブと交信した局に送る交信カード>) <令和元(2019)年8月1日>
- (15) 化石写真6点 (ゴードリセラス・ホベツエンゼ、アナゴードリセラス・コンプレッサム、フィロプチコセラス・ホリタイ、パキデスモセラス、異常巻アンモナイト、イノセラムス)、化石イラスト1点 (いのせらたん「ほべつたん」) 計7点：むかわ町シスト実行委員会 (「シスト男爵&化石 缶バッジ」制作) <令和元(2019)年8月10日制作予定>
- (16) むかわ竜全身復元骨格写真 1点：株式会社学研プラス (図鑑「恐竜世界大百科」電子書籍版) <令和元(2019)年8月末日発行>
- (17) むかわ竜実物化石写真 (1点)、むかわ竜復元骨格レプリカ写真 (1点)、発掘現場写真 (1点)、むかわ竜クリーニング状況写真 (1点)、むかわ竜の化石を並べている写真 (1点) 計5点：有限会社ビッグイシュー日本 (「ビッグイシュー日本版366号」) <令和元(2019)年9月1日発行>
- (18) カムイサウルス全身化石写真 (1点)、カムイサウルス全身復元骨格レプリカ写真 (1点) 計2点：石川テレビ放送株式会社 (テレビ放送) <令和元(2019)年9月17日>
- (19) カムイサウルス全身復元骨格 (レプリカ) 写真 1点：株式会社アリス館 (「きょうりゅうのサン いまぼくはここにいる」特別帯) <令和元(2019)年9月20日>

- (20) むかわ竜全身化石写真 1点：有限会社アート・エフ(株式会社学書「2019 百戦錬磨」塾用テキスト) <令和元(2019)年9月27日発行>
- (21) むかわ竜全身復元骨格写真 1点：有限会社 大悠社(「宇宙(そら)のとびら 49号」JAXA 宇宙教育センター刊行) <令和元(2019)年9月30日発行>
- (22) むかわ竜全身化石写真(1点)、ホベツアラキリュウ全身復元骨格写真(1点)、フォスフォロサウルス・ポンペテレガンス頭骨写真(1点)、メソダーモケリス・ウンデュラータス全身復元骨格写真(1点) 計4点：株式会社スタジオタッククリエイティブ(ビジュアル図鑑『THE ROCK & GEM BOOK』日本語翻訳版) <令和元(2019)年10月5日発行>
- (23) アンモナイト ユウパキディスクス(HMG-0620)写真 1点：辰巳出版株式会社(「光る石」日東書院本社刊) <令和元(2019)年10月15日発行予定>
- (24) ホベツアラキリュウ全身復元骨格写真(1点)、むかわ竜骨格写真(1点) 計2点：むかわ町役場産業振興課商工観光グループ(日高線利用促進に係るリーフレット<JR 北海道>) <令和元(2019)年10月中旬完成>
- (25) むかわ竜全身化石映像、むかわ竜組立骨格映像(ともに2019年6月29日NHK撮影)：株式会社ディレクションズ(NHK Eテレ「ビットワールド」) <令和元(2019)年10月25日放送>
- (26) むかわ竜実物化石写真 1点：株式会社シナップス(「2020年中学入試用 サピックス重大ニュース」) <令和元(2019)年11月1日発行>
- (27) むかわ竜実物化石写真 1点：株式会社 講談社(「テレビマガジン2019年12月号」) <令和元(2019)年11月1日発行>
- (28) カムイサウルス全身復元骨格レプリカ写真 1点：株式会社ブロックス(テレビ朝日「博士ちゃん」) <令和元(2019)年11月9日>
- (29) むかわ竜骨格イラスト 1点：苫小牧信用金庫(「苫小牧信用金庫2020カレンダー」) <令和元(2019)年11月>
- (30) むかわ竜実物化石写真(1点)、むかわ竜復元骨格レプリカ写真(1点)、穂別博物館外観写真(1点) 計3点：千文舎(「みんなとま2019年冬号」記事「ちょっと寄り道」) <令和元(2019)年11月20日>
- (31) カムイサウルス実物化石写真(1点)、クビナガリュウ全身復元骨格写真(1点)、モササウルス類生体復元模型写真(1点)、アンモナイト化石写真(1点) 計4点：北海道胆振総合振興局(「胆振教育旅行ガイドブック」) <令和元(2019)年11月30日>
- (32) カムイサウルス実物化石写真 1点：胆振東部農業開発事業所(「胆振東部の農業農村整備事業パンフレット」) <令和元(2019)年11月30日>
- (33) カムイサウルス実物化石写真(1点)、カムイサウルス全身復元骨格写真(1点) 2点：NPO法人 恐竜のまちかつやま応援隊(かつやま恐竜の森)(化石発掘体験の掲示物作成) <令和元(2019)年11月>
- (34) アンモナイト ノストセラス(HMG-1660、HMG-1666)写真 計2点：The Tethys Ocean Project(「The Nostoceratidae」) <令和元(2019)年12月1日発行>
- (35) むかわ竜全身骨格写真 1点：株式会社リバネス(「Someone vol.49 2019 冬号」) <令和元(2019)年12月1日出版>
- (36) カムイサウルス発掘現場写真 1点：株式会社北海道ジェイ・アール・エージェンシー(「THE JR Hokkaido 2019年12月号」特集記事) <令和元(2019)年12月1日>
- (37) カムイサウルス実物化石写真 1点：とまこまい広域農業共同組合穂別支所(「雪瑞穂米袋」の裏面) <令和元(2019)年12月1日>
- (38) カムイサウルス全身復元骨格レプリカ写真 1点：ネクスコ東日本(「北海道スマホスタンプラリー」) <令和元(2019)年12月6日>
- (39) カムイサウルス発掘調査写真(1点)、カムイサウルス実物化石写真(1点) 計2点：総合商研株式会社(「北海道発掘マガジンJP01」一村一珍) <令和元(2019)年12月11日>
- (40) 恐竜博2019図録図版(p97図6、図7、p98図9) 計3点：毎日新聞出版株式会社(「月刊Newsがわかる」) <令和元(2019)年12月13日>
- (41) むかわ竜全身復元骨格写真 1点：総合商研株式会社(ウポポイPR催事用クイズ：羽田空港第2ターミナル) <令和2(2020)年1月16日～19日>
- (42) カムイサウルス全身骨格写真(1点)、フォスフォロサウルス全身骨格写真(1点)、ホベツアラキリュウ全身復元骨格写真(1点) 計3点：株式会社小学館(小学館の学習ムック「映画ドラえもん のび太の新恐竜発掘ブック」) <令和2(2020)年1月22日発売>
- (43) むかわ竜全身復元骨格写真 1点：株式会社JTBパブリッシング(「るるぶ北海道'21」) <令和2(2020)年2月下旬>

- (44) むかわ竜全身化石映像（2018年9月4日撮影）、アンモナイト・クビナガリュウ骨格映像（2016年4月30日放送）、むかわ竜全身化石映像（2019年7月13日放送）計3点：NHKエデュケーショナル（「小学校理科DVD」第17巻「大地のつくり」）＜令和2（2020）年3月1日＞
- (45) カムイサウルス実物化石（映像、2018年9月4日NHK撮影）：株式会社NHKエンタープライズ（NHK DVD教材「小学校国語指導資料DVD3年生」）＜令和2（2020）年3月6日＞
- (46) むかわ竜尾椎骨写真（1点）、ホベツアラキリュウ全身復元レプリカ写真（1点）、モササウルス類生体復元模型写真（1点）計3点：株式会社電通北海道（公益社団法人北海道観光振興機構事業「国内誘客促進強化事業（閑散期誘客拡大事業）」コンテンツ）＜令和2（2020）年1月15日＞
- (47) むかわ竜全身復元レプリカ写真 1点：有限会社くらしの新聞社（まんまる新聞1752号）＜令和2（2020）年1月17日＞
- (48) むかわ竜全身化石写真（1点）、むかわ竜全身復元レプリカ写真（1点）計2点：株式会社小学（ドラえもんふしぎのサイエンス「恐竜のサイエンス」）＜令和2（2020）年2月19日＞
- (49) むかわ竜全身化石写真 1点：NHK大阪拠点放送局制作部（NHK番組「歴史秘話ヒストリア」歴史ニュース2019）＜令和2（2020）年2月26日放送＞
- (50) むかわ竜全身発掘写真（4点）、むかわ竜尾椎骨写真（1点）、むかわ竜全身復元骨格写真（1点）計6点：北海道大学総務企画部広報課（小林快次教授関連動画、展示パネルの製作）＜令和2（2020）年3月＞
- (51) 遠別産翼竜化石写真 1点：群馬県立自然史博物館（第62回企画展「空にいどんだ勇者たち」展示ガイドブック）＜令和2（2020）年3月13日発行予定＞
- (52) むかわ竜全身化石写真（1点）、むかわ竜全身復元レプリカ写真（1点）、ホベツアラキリュウ全身復元レプリカ写真（1点）、フォスフォロサウルス全身復元レプリカ写真（1点）、ティラノサウルス「スコッティ」レプリカ写真（1点）計5点：NHK札幌放送局（「恐竜展2020」の広報周知のため）＜令和2（2020）年4月製作＞
- (53) むかわ竜全身化石写真 1点：株式会社メガ・コミュニケーションズ（NEXCO東日本 北海道スマホスタンプラリー）＜令和2（2020）年4月24日開始＞
- (54) むかわ竜全身復元骨格レプリカ写真（1点）、ホベツアラキリュウ全身復元骨格レプリカ写真（1点）、ティラノサウルス「スコッティ」レプリカ写真（1点）計3点：株式会社KADOKAWA（「恐竜『骨』ぬりえ Dinocolor」）＜令和2（2020）年8月＞



# 調査研究活動ほか

## I 調査研究活動

### 【野外調査活動】 のべ 14 日間

令和元 (2019) 年 7 月

- 3 日 西村学芸員・北大生 2 名
- 5 日 西村学芸員・北大生 2 名
- 7 日 西村学芸員・北大生 2 名
- 13 日 西村学芸員・中村学芸補助員・村上ボランティア
- 24 日 PM 西村学芸員・中村学芸補助員・昨野学芸補助員・村上ボランティア
- 25 日 AM 西村学芸員・中村学芸補助員
- 31 日 西村学芸員・中村学芸補助員・昨野学芸補助員・村上ボランティア

令和元 (2019) 年 8 月

- 15 日 西村学芸員・静岡大学池田助教他

令和元 (2019) 年 9 月

- 18 日 西村学芸員
- 19 日 西村学芸員・昨野学芸補助員
- 20 日 西村学芸員

令和元 (2019) 年 10 月

- 18 日 西村学芸員
- 23 日 西村学芸員
- 24 日 西村学芸員

### 【むかわ竜の研究】

#### <記載論文>

令和元 (2019) 年 9 月 6 日 カムイサウルス記載論文出版

掲載誌：サイエンティフィック・レポート誌 (インターネットで閲覧可)

タイトル：小林ほか、(2019 英) Yoshitsugu Kobayashi, Tomohiro Nishimura, Ryuji Takasaki, Kentaro Chiba, Anthony Fiorillo, Kohei Tanaka, Chinzorig Togtbataar, Tamaki Sato and Kazuhiko Sakurai, A “crested” hadrosaurine (Dinoceuria; Hadorosauridae) from the marine deposits of the Late Cretaceous Hakobuchi Formation, Yezo Group, Japan. *Scientific Reports*, <https://doi.org/10.1038/s41598-019-48607-1>

#### <来館状況>

令和元 (2019) 年 5 月

- 15 日～17 日、齊藤優里氏・高田謙太郎氏 (北海道大学理学部 4 年生・小林研) 来館

令和元 (2019) 年 6 月

- 13 日～18 日むかわ竜産状研究など 齊藤優里氏・

高田謙太郎氏 (北海道大学理学部 4 年生・小林研) 来館

- 24 日～28 日 むかわ竜産状研究など (24-26 地質調査：稲里白船沢・ソソシ沢) 齊藤優里氏・高田謙太郎氏 (北海道大学理学部 4 年生・小林研) 来館

令和元 (2019) 年 7 月

- 3 日～6 日 (7/3,4,6 地質調査) むかわ竜産状研究など 齊藤優里氏・高田謙太郎氏 (北海道大学理学部 4 年生・小林研) 来館

令和元 (2019) 年 10 月

- 27 日～31 日 齊藤優里氏 (北海道大学理学部 4 年生・小林研) (大 1)

令和元 (2019) 年 11 月

- 1 日 齊藤優里氏 (北海道大学理学部 4 年生・小林研) (大 1)
- 9 日～14 日 齊藤優里氏 (北海道大学理学部 4 年生・小林研) (大 1)
- 23 日～28 日 齊藤優里氏 (北海道大学理学部 4 年生・小林研) (大 1)

令和 2 (2020) 年 3 月

- 26 日・27 日 高崎竜司氏 (北海道大学・院)

### 【その他研究者等の来館】

令和元 (2019) 年 10 月

- 20 日、22 日 松井久美子博士 (九州大学総合博物館 日本学術振興会特別研究員) ほか (大 2、大 3)
- 29 日～31 日 笠原慎平氏 (金沢大学大学院 博士課程) (大 1)



むかわ竜の研究 (北海道大学・院 高崎竜司氏)

## 【研究協力】

### (1) 「むかわ町穂別博物館における GNSS 観測」

研究機関 北海道大学大学院理学研究院  
北海道大学大学院理学研究院 附属地震  
火山研究観測センター

目的 地震後の地殻変動調査

研究内容 GNSS 機材をむかわ町穂別博物館屋上に  
設置し、地震後の地殻変動を観測する

設置期間 令和元年6月10日～令和元年7月31  
日

設置機材 GNSS 観測機器

## II 学会・研修会等への参加

### 【日本古生物学会】

#### (1) 日本古生物学会 2019 年年会

日程：令和元（2019）年6月21日～23日

会場：静岡大学（静岡市）

出席：西村学芸員（ポスター発表）

#### (2) 日本古生物学会 2020 年例会

日程：令和2（2020）年2月7日～9日

会場：東京大学駒場キャンパス（東京都）

出席：西村学芸員

## IV 研究報告の発行

### 【研究報告第 35 号】

令和2（2020）年3月1日発行

論文・報告5篇

- (1) 展示室とバックヤードから博物館活動を理解するための教材開発．西村智弘，p.1—9
- (2) 北海道むかわ町穂別から産出した上部白亜系海棲爬虫類標本の層序分布の分析．関口修司・佐藤たまき，p.11—17.
- (3) ホベツアラキリュウの肢帯の再解釈と復元骨格の改修．佐藤たまき・仲谷英夫・新村龍也，p. 19-32.
- (4) *Phosphorosaurus* の等倍骨格復元の制作．新村龍也・小西卓哉，p.33-38
- (5) むかわ町穂別博物館職員における 2018 年北海道胆振東部地震からの復旧対応．西村智弘，p. 39-40.



松井久美子博士（九州大学総合博物館）による研究



笠原慎平氏（金沢大学大学院）による研究

# 運 営

## I 博物館周辺エリア再整備計画

平成 31・令和元（2019）年度は特に進展なし。

## II 事件・事故等

### 【博物館資料盗難未遂】

発見日時：令和元（2019）年 5 月 6 日 16:50 頃（閉館後清掃時）

場所：常設展示室 モササウルス・プリズマティクス展示ケース

状況：天板ガラスのビスが 4 ケ所中 3 ケ所外され、残る 1 ケ所のビス穴脇で天板ガラスが破損。外された 3 本のビスは展示ケース脇の床面にまとめられて放置されていた。

ビス 3 ケ所を外した状態で天板ガラスを持ち上げたため、固定されていた 1 ケ所のビス穴脇で破損したものと思われる。

監視体制：監視カメラの範囲外。死角となる場所。

標本の被害状況：展示資料には被害なし

再発防止策：

①展示室の展示ケースに使用されている類似のビス全てについて、工具を使用しなければ回せないタイプのものに交換する。

②職員による館内巡回の強化

対応：令和元（2019）年 6 月 28 日 展示室の展示ケースネジを六角ナットでしか開けられないものへ変更。

## III 新型コロナウイルス対策

世界中および日本国内で感染が拡大した新型コロナウイルスのさらなる感染拡大防止のため、穂別博物館は下記の対応を行った。

穂別博物館は社会教育施設であると同時に、来館者において町外者（特に札幌圏）が大部分を占める集客施設の側面もある。北海道や札幌市の緊急事態宣言が続いている中で、むかわ町の対応として、臨時休館の対策を行った。

### 【感染予防対策】

- (1) 館内の消毒の実施（アルコール、次亜塩素酸）
- (2) 入口、トイレ前に手指消毒剤の設置
- (3) 手の触れることのできる展示（ハンズオン展示）の一時的撤収、もしくは休止
  - ①手を触れることのできるアンモナイト等の展示（「触っていいよ」を一時的に撤収）
  - ②「探検シート」「組み立てパズル」「パズルラリー」の撤収
  - ③閲覧用図書の一時的撤収
- (4) 掲示による注意喚起
- (5) 受付窓口に遮蔽用アクリル板を設置
- (6) 受付窓口職員のマスク着用

### 【臨時休館】

※臨時休館第一期：令和元年 3 月 1 日～ 31 日

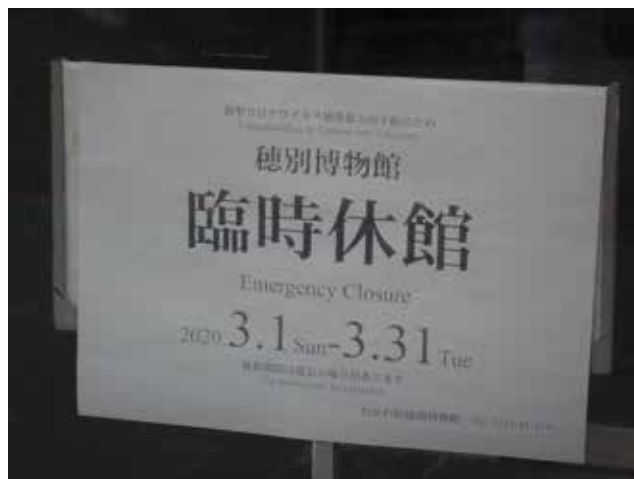
(1) 令和元年 3 月 1 日～ 16 日

（令和元年 2 月 28 日決定・告知）

新型コロナウイルスによる感染拡大を受け、国立の博物館や美術館は 2 月 27 日から 3 月 15 日の間、



展示室ガラスケースの破損（19.5.6）



新型コロナウイルスによる臨時休館（20.3.1-31）

臨時休館とすることが発表された（2月26日）。また、道立の博物館や青少年体験活動支援施設等の社会教育施設が、2月29日から3月16日までを臨時休館とすることについて、北海道教育庁から通達があった（2月27日）。これらの通達を受け、観覧者の大部分を町外者が占める当館としては、感染拡大の防止のため、また、対応する博物館職員の安全確保のため、周知期間を確保した上で、3月1日から16日までを臨時休館とすることにした。根拠は、むかわ町穂別博物館設置条例施行規則第3条（開館時間および休館日）のただし書き「教育委員会が特に必要と認めたときは、開館時間及び休館日を変更することができる。」に基づく。

(2)～令和元年3月19日（延長）

（令和元年3月12日決定・告知）

北海道教育庁からの通達により、北海道博物館を含む道立の社会教育施設の休館期間が3月19日まで延長されたことを受け、穂別博物館の臨時休館を3月19日まで延長することとした。

(3)～令和元年3月31日（再延長）

（令和元年3月19日決定・告知）

北海道教育庁からの通達により、道立社会教育施設の休館期間が3月31日まで延長されたことを受け、穂別博物館の臨時休館を3月31日まで延長することとした。

【臨時休館の周知】

- (1) 博物館入口に掲示
- (2) むかわ町情報端末（11チャンネル）：穂別地区
- (3) 穂別博物館ホームページ
- (4) 新聞等（道新など）
- (5) 電話やメールなどで問い合わせがあった場合は直接対応



北海道大学総合博物館との相互協力協定の締結（19.8.23）

#### IV 北海道大学総合博物館との連携

平成26（2014）年9月1日に締結された「国立大学法人北海道大学総合博物館とむかわ町の相互協力協定」の調印から5年が経過することを受け、内容を現状に合わせて一部見直した上で改めて締結を行った。

日程：令和元（2019）年8月23日

内容：北海道大学総合博物館との相互協力協定 調印式

#### V 穂別博物館協力会

化石採集の体験学習用地の水洗を実施した。

日程：令和元（2019）年5月28日

協力：滝川満夫会長・山田正事務局長・高橋義道氏

#### VI 北海道恐竜・古生物化石等振興議員連盟

北海道恐竜・古生物化石等振興議員連盟（北海道版「恐竜議連」）の設立総会に出席し、挨拶と講演を行った。

日程：令和元（2019）年7月2日

会場：北海道議会庁舎 第2委員会室（札幌市）

内容：来賓挨拶（竹中喜之むかわ町長）

講演（櫻井館長）「世紀の大発見 国内最大・恐竜全身骨格化石『むかわ竜』（穂別産）」



化石採集体験学習用地の水洗（19.5.28）

## Ⅶ モンゴル国科学アカデミーとの連携

世界有数の恐竜化石産地であるモンゴル国の国立研究機関である科学アカデミー古生物学研究所と北海道大学総合博物館、そして北海道大学総合博物館とむかわ町は連携協定を締結している。そこでむかわ町とモンゴル国科学アカデミー古生物学研究所が連携協定を結ぶことで三者による連携が実現することから、学術交流のみならず教育普及活動や地域振興のための経済交流を視野に入れ、連携に向けた取り組みを進めた。  
＜令和元年度の対応＞

- (1) 令和元(2019)年8月2日 モンゴル北海道経済交流促進調査会訪問団歓迎夕食会への出席  
対応：竹中喜之むかわ町長、櫻井館長  
会場：札幌パークホテル(札幌市)  
内容：むかわ町のPR、閉会挨拶(竹中町長)
- (2) 令和元(2019)年10月20日 シグジャブ所長の来町  
モンゴル国科学アカデミー古生物学研究所シグジャブ・ツォクトバートル所長が来町し、町長と面談した。
- (3) 令和元(2019)年11月4日 恐竜化石を活かしたまちづくりワークショップ  
目的：「恐竜ワールド構想」を進める上で、国際的な恐竜研究が進められているモンゴル国の状況を研修し、「町民が主役・主体、そして自立した産業・組織づくり」を目的として開催  
会場：むかわ町穂別町民センター多目的ホール  
内容：
  - ・基調講演：ダンバダルジャー・バッチジャルガル(モンゴル国特命全権大使)
  - ・講演：小林快次(北海道大学総合博物館教授・副館長)



北海道恐竜・古生物化石等振興議員連盟設立総会(19.7.2)

## Ⅷ 組 織

【博物館職員】＜平成31・令和元(2019)年度＞

＜館長＞

館長 櫻井和彦

＜管理担当＞

主事 干場芽衣

窓口担当(臨時職員) 早瀬千佳

窓口担当(臨時職員) 谷口信江

＜学芸担当＞

学芸員 西村智弘

学芸補助員(嘱託職員) 中村正彦

学芸補助員(臨時職員) 畔野翔太

学芸補助員(臨時職員) 阿部恭子(11月23日～)

## Ⅸ 刊行物

【むかわ町穂別博物館館報】

ISSN 1882-5230

第36号：平成30(2018)年度版

35頁、令和2(2020)年3月発行

## IX 利用状況

### 【常設展示観覧者】

平成 31(2019) 年 4 月～令和 2(2020) 年 3 月

月	一般	学生	小計	幼児	合計	開館日
4	1,195	309	1,504	233	1,734	26
5	2,224	658	2,882	456	3,338	24
6	971	263	1,234	189	1,423	26
7	1,890	535	2,425	433	2,858	29
8	3,772	1,362	5,134	934	6,068	30
9	1,648	390	2,038	367	2,405	23
10	1,819	401	2,219	399	2,618	25
11	1,184	197	1,381	297	1,678	24
12	314	66	380	94	474	25
1	258	54	312	84	396	21
2	313	79	392	118	510	23
3	1	0	1	0	1	0
計	15,588	4,314	19,902	3,604	23,506	278

(単位：人・日)

※ 2020.3.1～3.31：新型コロナウイルス感染拡大予防のため臨時休館

### 【博物館特定入館日】

＜博物館開館記念日関連事業＞

7 月 20 日の開館記念日に関連して、令和元 (2019) 年 7 月 14 日～7 月 20 日の 7 日間を町民無料入館日とした。

＜国際博物館の日＞

国際博物館会議 (イコム、ICOM) のモスクワ大会 (1977 年) にて制定され、日本では平成 14 年度から日本博物館協会とイコム日本委員会が協力して記念事業が展開されることとなった「国際博物館の日」(5 月 18 日) の趣旨に賛同し、当日を町民無料入館の日とした。

＜北海道みんなの日＞

7 月 17 日が「北海道みんなの日 (道みんなの日)」に制定されたのを受け、当日を北海道民の無料入館日とした。

＜化石の日＞

2017 年に国際古生物学協会 (International Palaeontological Association) によって、化石や古生物学の普及のきっかけを目的として「国際化石の日」(International Fossil Day) が 10 月第 2 週末に制定されたのを受け、2018 年に日本古生物学会によって 10 月 15 日が日本国内における「化石の日」として制定された。

当館は古生物を展示する博物館としてその趣旨に賛同して、今年度以降「化石の日」を博物館設置条例第

4 条 (別表) に基づき、当日を町民無料入館の日とした。

なお、今年度については 10 月 15 日が休館日に当たっていることから、その前日の 10 月 14 日 (月・祝) を「『化石の日』記念特定入館日」とした。

＜博物館特定入館日に伴う町民無料入館＞ (単位：人)

実施日	行事名	一般	学生	計
R01.5.18	国際博物館の日	1	4	5
7.14-20	博物館開館記念日	5	0	5
7.17	北海道みんなの日	30	1	31
9.16	敬老の日	1	1	2
10.14	化石の日	8	0	8
11.3	文化の日	3	0	3
11.23	勤労感謝の日	0	0	0
R02.1.13	成人の日	3	1	4
計	13 日	51	7	58

一般：高校生より上、学生：小学生～高校生

### 【その他無料入館日】

＜即位礼正殿の儀＞

令和天皇が皇位を継承したことを示す皇室儀礼である「即位礼正殿の儀」の挙行に伴う慶祝事業の一環として国立の博物館及び美術館の常設展等について無料公開を行うことに合わせ、各都道府県教育委員会宛てに同様の対応依頼があったことを踏まえ、むかわ町穂別博物館設置条例第 5 条に基づき、令和元 (2019) 年 10 月 22 日の当日を無料公開とした。

無料観覧者：小 56、大 182

### 【町内児童生徒に対する入館料免除】

学校完全週五日制及び「総合学習」の導入に合わせ、むかわ町内児童生徒並びに引率者については無料観覧とした。(平成 14 年度より実施)

また、また、むかわ町子ども化石くらぶ会員についても、学習のため無料観覧とした (通年)。

無料観覧者：70 人 (他、ハドロキッズ関係：111 人)

## X 歳入・歳出

### 【歳入】

区 分	有料入館者数	観覧料
一般	個人	13,890
	団体	867
	割引	5
学生	個人	3,460
	団体	250
	割引	2
小 計	18,474	4,700
諸収入	物品販売代	58
	体験学習料	65
小 計		123
合 計		4,823

(単位：人・千円)

### 【歳出】

費 目	金 額
報 酬	2,014
共 済 費	848
賃 金	4,109
報 償 費	610
旅 費	666
需 用 費	9,645
役 務 費	518
委 託 料	5,243
使用料及び賃借料	1,515
工 事 費	0
備 品 購 入 費	573
負担金補助及び交付金	45
補償補填及び賠償金	0
博 物 館 費 合 計	25,786

(単位：千円)

## XI 利用案内

### 【開館時間】

午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

### 【休館日】

- ・毎週月曜日。
- ・国民の祝日の翌日。ただし、その翌日が土曜日および日曜日に当たるときは月曜日とし、月曜日が国民の祝日又はその翌日に当たるときは火曜日及び水曜日とする。
- ・12月31日-1月5日。
- ＊7、8月は無休。

### 【観覧料】

	一般	学生
個人	300円	100円
団体	200円	50円
割引	100円	無 料

一般：高校生より上

学生：小学生・中学生・高校生

幼児（未就学児童）は無料（要大人の付添い）

団体：10人以上

割引：穂別地球体験館（体験館）との共通利用割引（両施設を見学する場合の割引制度。体験館に先に入館した場合、この料金が適用される。体験館が平成31年3月に閉館になったため、割引券の使用期限は令和2年3月31日までとしている。）

### 【減 免】

「博物館の展示場に入場しようとする者は、観覧料を納付しなければならない（むかわ町博物館設置条例、第4条）」が、「教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる（同条例、第5号）」。減免は、教育・研究・福祉を目的とし、以下に従う。

むかわ町博物館施行規則第4条の規定による観覧料の減免は、次のとおりとする。

（教育目的）

1) むかわ町内の小・中学校及び高等学校の児童生徒と引率者が教育を目的として入館する場合。

（研究目的）

2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・研究のため入館する場合。

（福祉目的）

3) 老人福祉法(昭和38年法律第133号)第15条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

4) 知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)第19条に規定する町内の知的障害者援護施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

(公益目的)

5) 前各号に定めるもののほか、公益上または教育振興上特に館長が必要と認める場合。

むかわ町穂別博物館館報

第37号

平成31・令和元(2019)年度版

発行 2020年9月

発行者 むかわ町穂別博物館

〒054-0211

北海道勇払郡むかわ町穂別80番地の6

TEL/FAX (0145) 45-3141